

# SOMPOトピックス & ベーシックス

2021年11月

SOMPOホールディングス株式会社



目次	1	海外保険事業① – 進捗状況–	31
<b>1. SOMPOホールディングスの概要</b>		海外保険事業② – 規律を伴ったトップライン成長–	32
SOMPOホールディングスの概要	3	海外保険事業③ – SI※2コマースの収益性向上–	33
損保ジャパンの概要	4	国内生保事業① – 進捗状況–	34
日本の損害保険市場の概要と損保ジャパンのポジション	5	国内生保事業② – 各重点指標の状況–	35
国内自然災害リスクへの対応（損保ジャパン）	6	介護・シニア事業① – 進捗状況–	36
日本の損害保険市場における参考純率制度の概要	7	介護・シニア事業② – 3つの基本戦略の取組状況–	37
海外保険事業の概要	8	デジタル事業 – 進捗状況–	38
国内生保事業の概要	9	<b>3. 2021年度通期業績予想・中間決算の概要</b>	
介護・シニア事業の概要	10	2021年度通期業績予想（連結）	40
<b>2. 中期経営計画の進捗</b>		2021年度通期業績予想修正のポイント	41
SOMPOのサステナブルな成長ストーリー	12	業績ハイライト（2021年度中間期）	42
中期経営計画の進捗 – 全体像–	13	2021年度中間決算概況（連結）	43
中期経営計画の進捗 – グループ経営数値目標–	14	保険引受利益（損保ジャパン）	44
規模と分散① – 全体進捗状況–	15	<参考> 自動車保険関連の指標（損保ジャパン）	45
規模と分散② – 規模の拡大–	16	<参考> 国内自然災害（損保ジャパン）	46
規模と分散③ – 分散の進展–	17	資産運用粗利益（損保ジャパン）	47
新たな顧客価値創造① – 注力する5領域–	18	業績概況（海外保険事業）	48
新たな顧客価値創造② – 介護RDP※1の開発状況–	19	<参考> 地域別業績（海外保険事業）	49
新たな顧客価値創造③ – 介護RDPの取組み進捗–	20	<参考> SI業績概況（海外保険事業）	50
中計達成に向けた成長投資	21	業績概況（ひまわり生命）	51
資本政策・ERM① – リスクの削減–	22	業績概況（介護・シニア事業）	52
資本政策・ERM② – 株主還元–	23	財務健全性：ESR（99.5%VaR）	53
働き方改革	24	<参考> 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	54
SDGs経営	25	資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）	55
ガバナンス	26	資産ポートフォリオ（損保ジャパン）	56
事業別KPI	27	資産ポートフォリオ（SI）	57
国内損保事業① – 進捗状況–	28	資産ポートフォリオ（ひまわり生命）	58
国内損保事業② – 収益構造改革–	29	<参考> 経営数値目標等	59
国内損保事業③ – トップライン成長に向けた取組み–	30		

※1 リアルデータプラットフォーム ※2 Sompo International

# 1. SOMPOホールディングスの概要

## 2. 中期経営計画の進捗

---

## 3. 2021年度通期業績予想・中間決算の概要

# SOMPOホールディングスの概要

- ・ 損保ジャパンを主力に、国内外の保険引受事業などを展開
- ・ 連結経常収益は3兆8,000億円超、総資産は約13兆円

## グループ概要



# SOMPO ホールディングス

### 国内損保事業

- 損保ジャパン
- セゾン自動車火災
- 損保ジャパンパートナーズ
- 損保ジャパンDC証券
- SOMPOリスクマネジメント
- SOMPOフランティ など

### 海外保険事業

- Sompoインターナショナル (SI)
- Sompoシゴルタ (トルコ)
- Sompoセグロス (ブラジル)
- ベルジャヤソポ (マレーシア)
- Sompoシンガポール など

### 国内生保事業

- SOMPOひまわり生命

### 介護・シニア事業

- SOMPOケア

### デジタル事業

- SOMPO Light Vortex など

### ヘルスケア事業

- SOMPOヘルスサポート
- ウェルネス・コミュニケーションズ

### その他戦略事業

- SOMPOアセットマネジメント など

## 主要指標 (グループ連結)

(億円)	2019年度	2020年度	2021年度 (予想)
連結経常収益	37,603	38,463	-
連結経常利益	1,924	2,150	2,670
連結純利益	1,225	1,424	1,780
総資産	119,778	131,186	-
純資産	16,125	20,311	-
時価総額	12,172	15,099	-

### 格付(2021年11月末現在)

	損保ジャパン	SI*	ひまわり生命
S&P	A+ (安定的)	A+ (安定的)	A+ (安定的)
Moody's	A1 (安定的)	-	-
A.M. Best	A+ (安定的)	A+ (安定的)	-
R&I	AA (安定的)	-	AA (安定的)
JCR	AA+ (安定的)	-	-

※ Sompo International Holdings Ltd. 主要子会社の格付

# 損保ジャパンの概要

- 130年を超える歴史を有し、正味収入保険料は約2.1兆円

## 国内保険事業の沿革



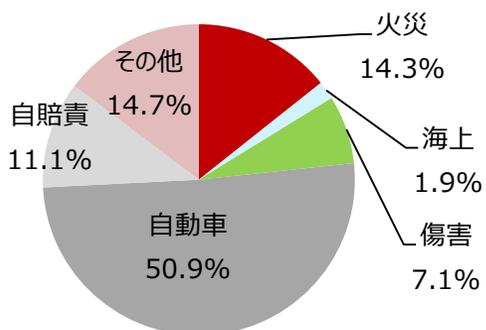
## 主要指標

(億円)	2019年度	2020年度	2021年度 (予想)
正味収入保険料	21,847	21,414	21,730
経常利益	1,823	1,974	1,810
当期純利益	1,305	1,469	1,370
総資産	71,660	73,896	-
純資産	13,019	14,746	-
コンバインド・レシオ (E/I) ※2	97.2%	94.3%	95.0%

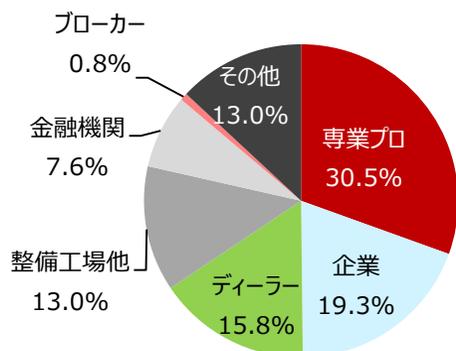
※2 除く自賠責・家計地震

## 2020年度正味収入保険料

<商品別 (正味ベース)>

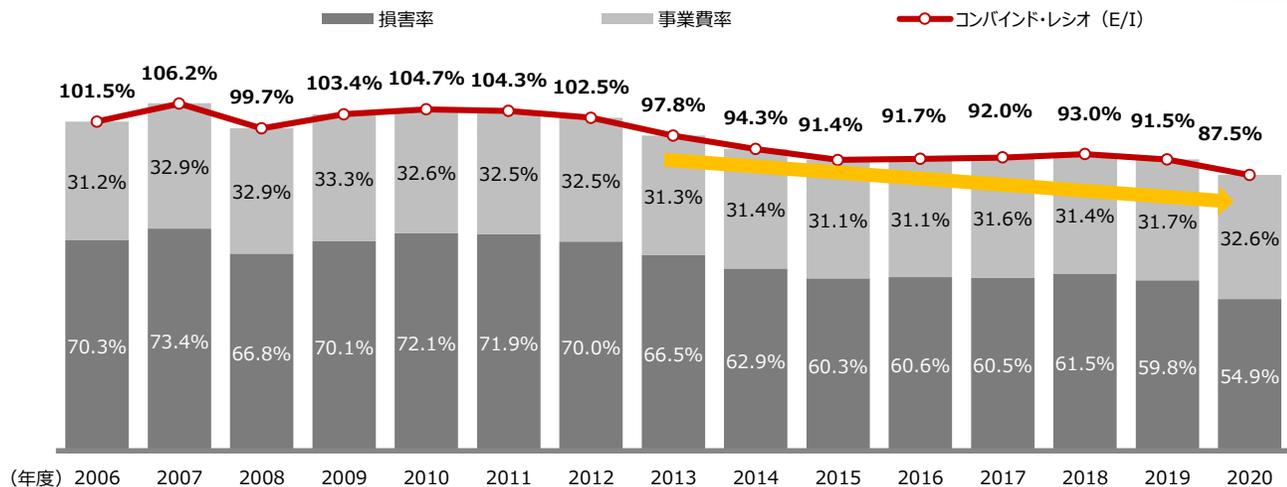


<販売チャネル別※1 (元受ベース)>



※1 営業成績ベースの元受保険料。プロカー以外の販売チャネルは、すべて保険代理店

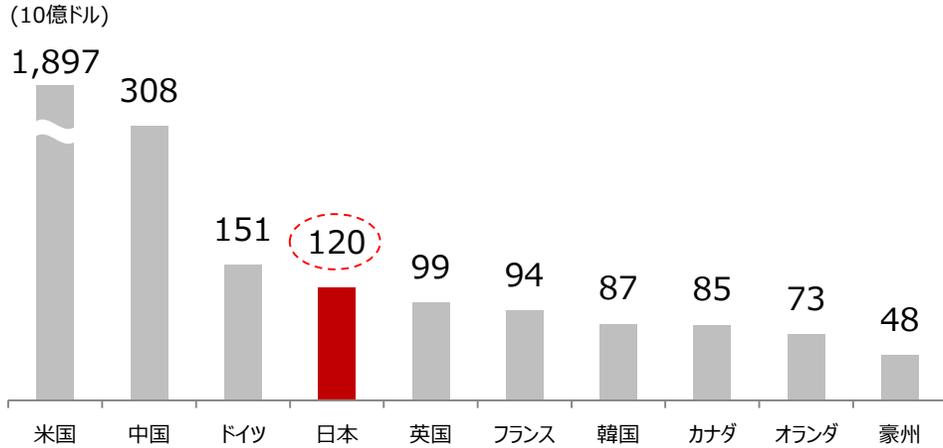
## 自動車保険の収益性



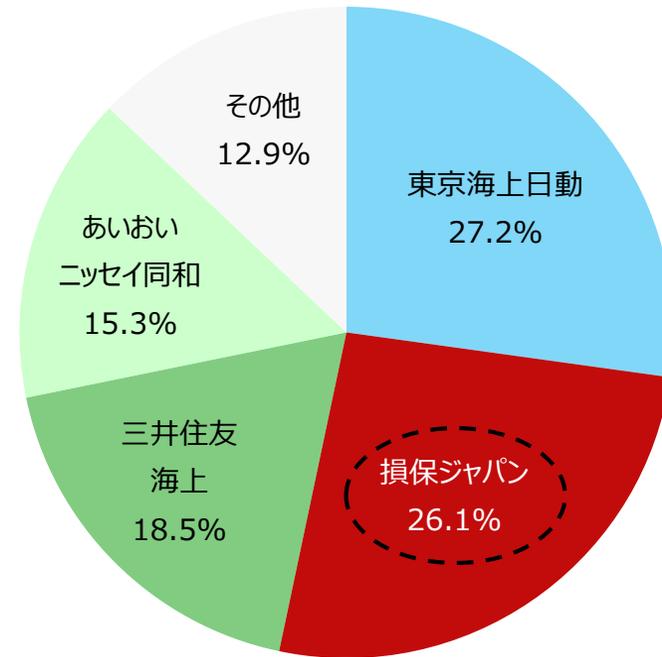
# 日本の損害保険市場の概要と損保ジャパンのポジション

- 自動車保険を中心に保険料収入が拡大、上位4社で9割弱のシェアを占めており、収益の安定性は高い

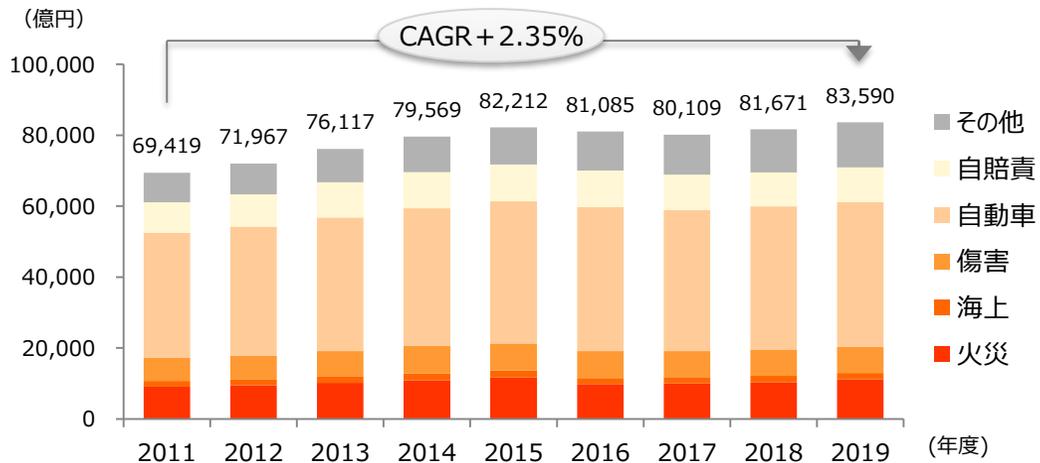
国別の損害保険市場規模※1 (2020年度)



日本における損害保険市場のマーケットシェア※2 (2019年度)



日本における損害保険料の推移※2



出典：Swiss Re “Sigma Report”、保険研究所“Insurance”

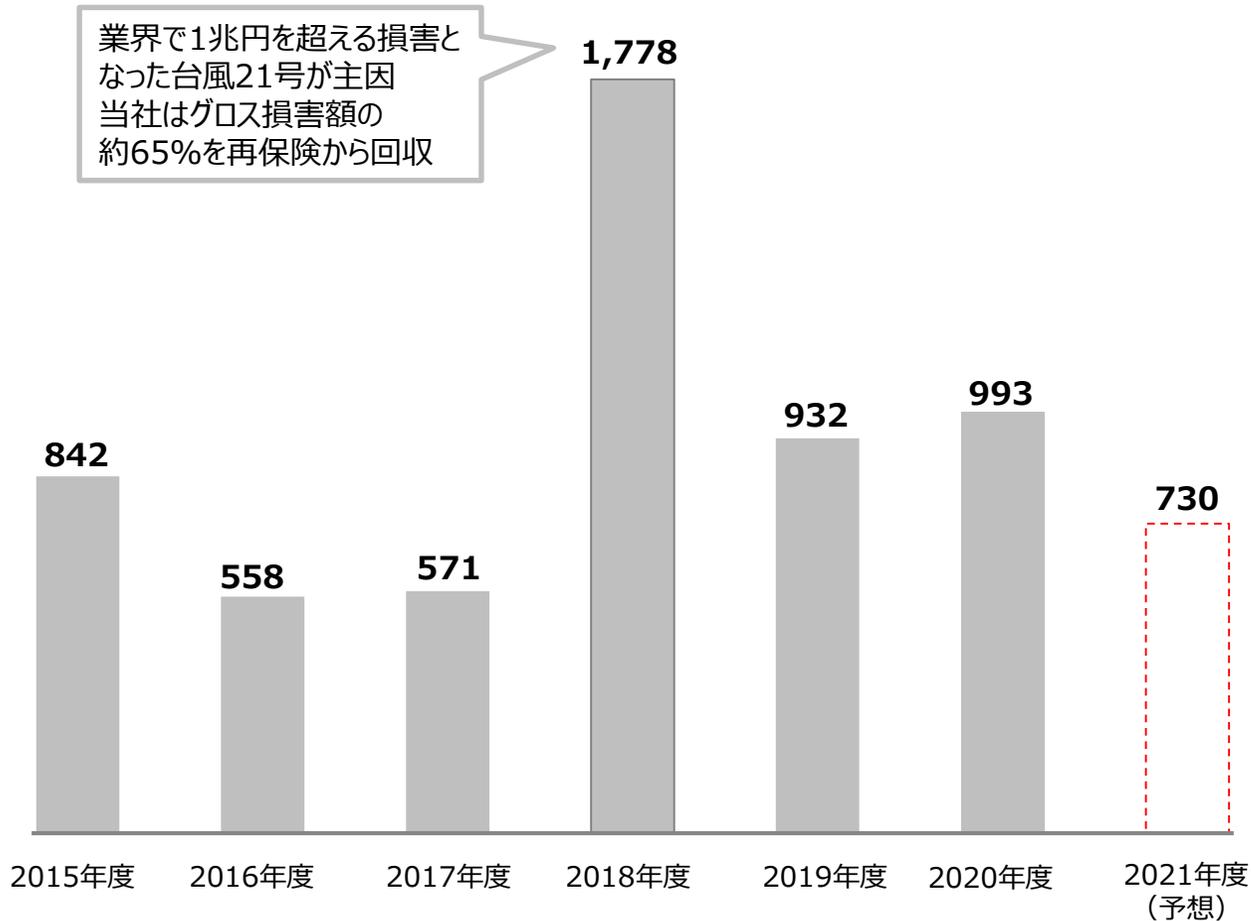
※1 名目元受総収入保険料ベース

※2 再保険会社を除く、国内に法人格又は支店を有する元受保険各社の、国内正味収入保険料総額ベース

# 国内自然災害リスクへの対応（損保ジャパン）

## 国内自然災害の正味発生損害および国内自然災害リスクへの対応

(億円)



### 当社の国内自然災害リスク対応のポイント

#### 最適な再保険プロテクション

- 自然災害の激甚化への対応
- 利益変動性のコントロール



#### 2021年度プロテクション

SIとの共同再保険手配やCATボンドの活用などにより大規模災害への万全な備え

#### フォワードルッキングなリスク認識

- 気候変動による自然災害影響をモデル上保守的に見込む

#### 火災料率の適正化

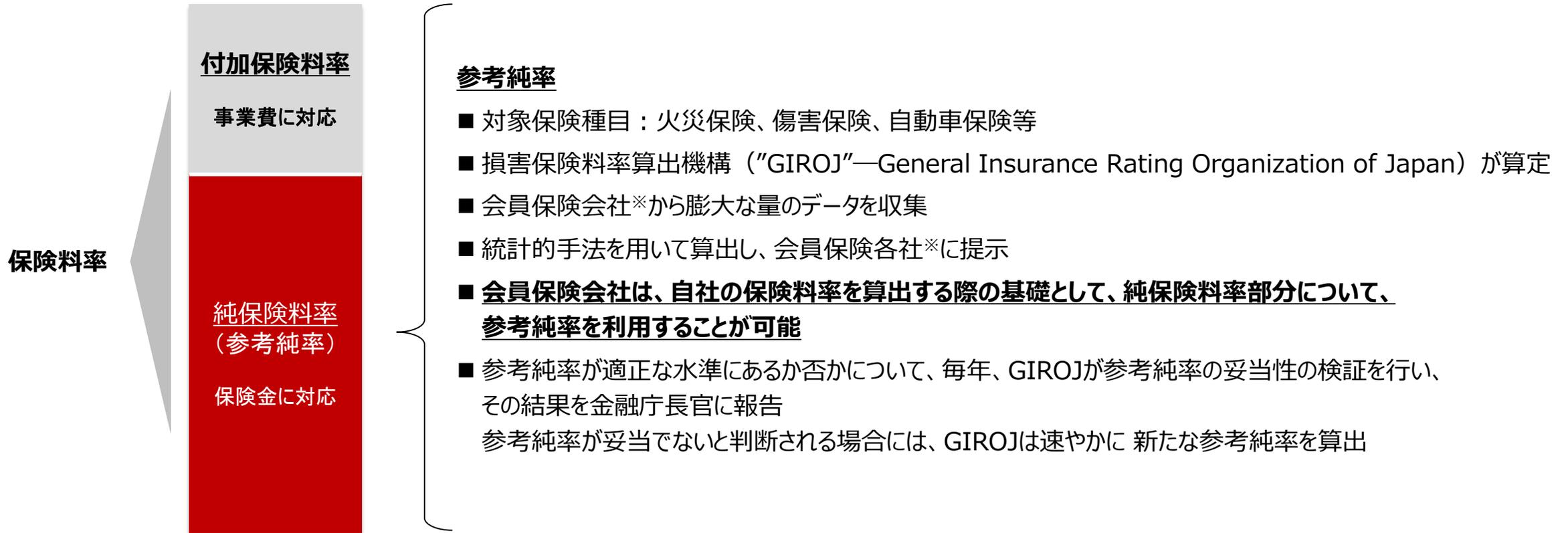
- 保険料改定（2019年10月、2021年1月）
- 参考純率見直しを踏まえた更なる料率最適化の検討

(参考) 気候に関する公的機関の一般的な見解

	台風	豪雨
現在	発生数・強い台風の上陸数に明確な変化なし	発生回数が増加
中長期	・発生総数は減少 ・強い台風が増加	大雨と短時間強雨の年間発生回数が増加

# 日本の損害保険市場における参考純率制度の概要

- 参考純率は、広範な保険統計データに基づく純保険料率であり、保険料率設定の参考となる
- 参考純率制度は日本の損害保険会社の収益安定に寄与

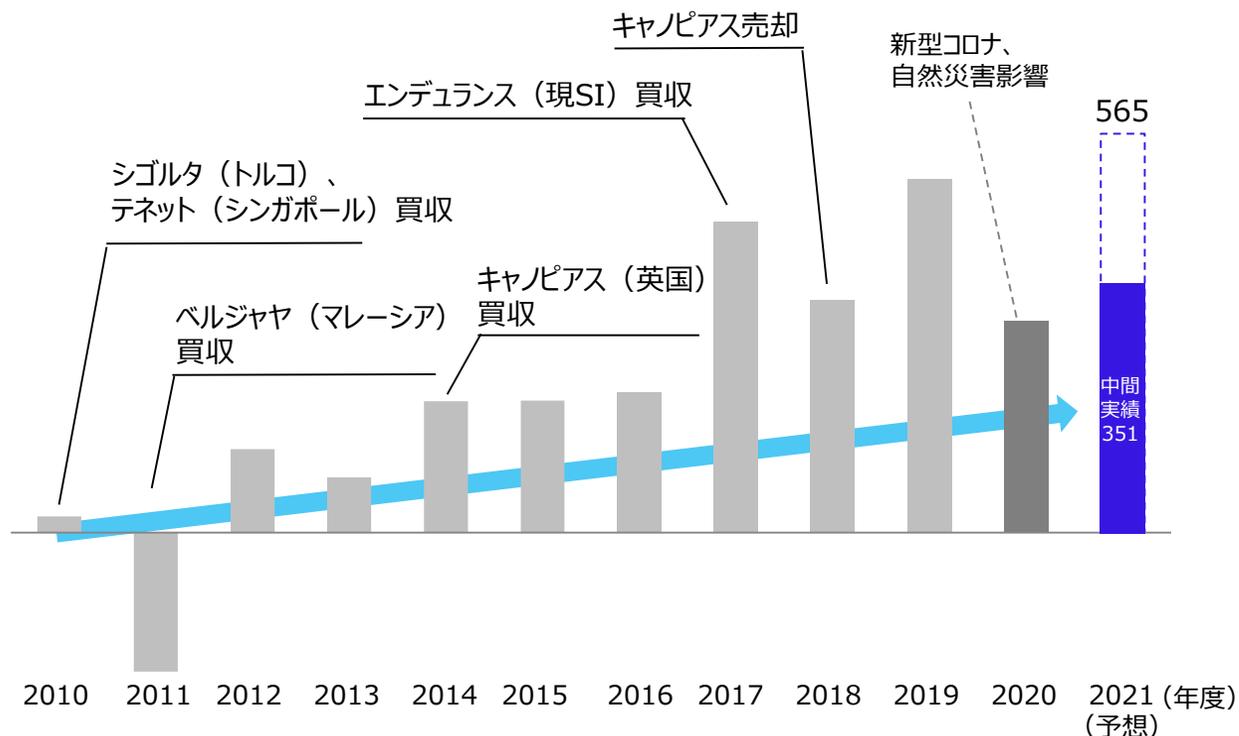


# 海外保険事業の概要

- 海外保険事業の修正利益は、HD設立以降継続的に拡大
- グループの成長ドライバーとして、Sompo Internationalを中心に、トップライン・修正利益の更なる拡大を見込む

## 修正利益の推移

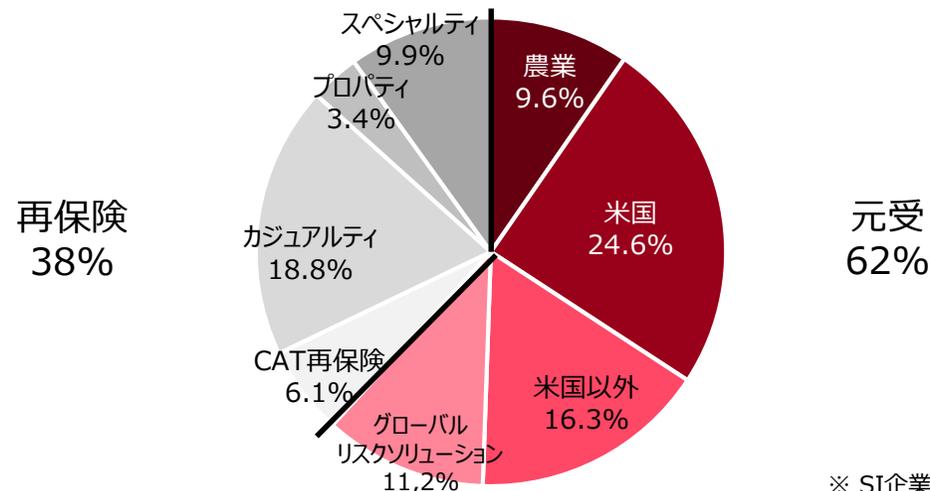
(億円)



## SI※の主要指標

(\$mil)	2019年度	2020年度	2021年度 (予想)
グロス保険料	6,787	9,354	11,963
正味収入保険料	3,921	5,882	7,398
修正利益	320	182	532
総資産	23,727	30,780	-
純資産	6,662	7,385	-
コンバインド・レシオ	96.2%	97.8%	94.0%

グロス保険料の引受部門別構成比 (2020年度)

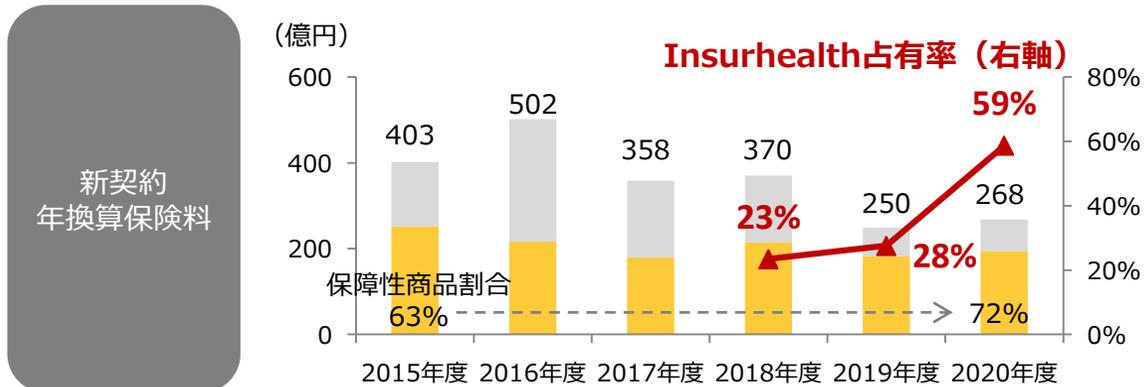


※ SI企業部門を指す

# 国内生保事業の概要

- ・ 保障系商品中心の販売戦略を継続しつつ、保有契約を拡大
- ・ 2018年度から保険機能とヘルスケア機能を組み合わせた“Insurhealth®”商品を展開、成長をけん引

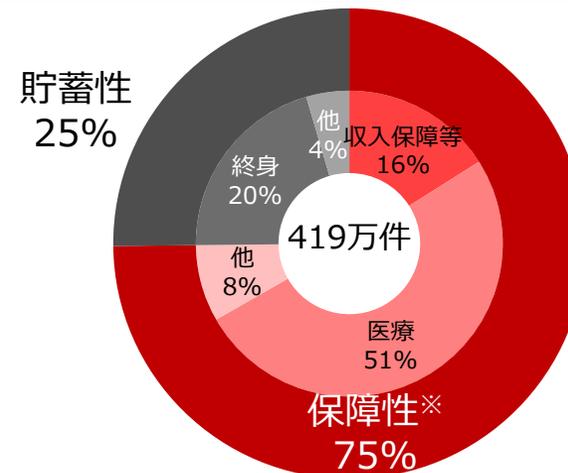
## 年換算保険料（保有契約・新契約）



## ひまわり生命の主要指標

(億円)	2019年度	2020年度	2021年度 (予想)
新契約年換算保険料	250	268	401
保険料等収入	4,465	4,415	4,442
経常利益	284	321	201
当期純利益	165	200	116
総資産	32,177	35,524	-
純資産	1,476	1,672	-

商品ポートフォリオ（保有契約件数ベース、2020年度）



**Insurhealth**  
(Insurance + Healthcare)

お客様の健康維持・増進機能と保険の融合による  
新たな価値の提供

※ 主に医療保険、がん保険、収入保障保険、定期保険（長期など除く）

# 介護・シニア事業の概要

- 2015年度に介護事業に参入、売上高で業界2位、施設数で業界1位と、介護業界最大手の一角
- サービス品質の向上とともに、入居率を着実に改善させ、2017年度に黒字転換を実現、その後も安定的に成長

## SOMPOケアの概要

### 介護事業者として業界最大手規模

介護事業売上高（2020年度）

1	A社*	1,537億円
2	<b>SOMPOケア</b>	<b>1,318億円</b>
3	B社	1,238億円
4	C社	932億円
5	D社	632億円

出典：各社決算資料 ※ 2019年度数値

介護事業居室数（2019年8月時点）

1	<b>SOMPOケア</b>	<b>25,574室</b>
2	A社	17,520室
3	B社	13,945室
4	C社	12,246室
5	D社	11,003室

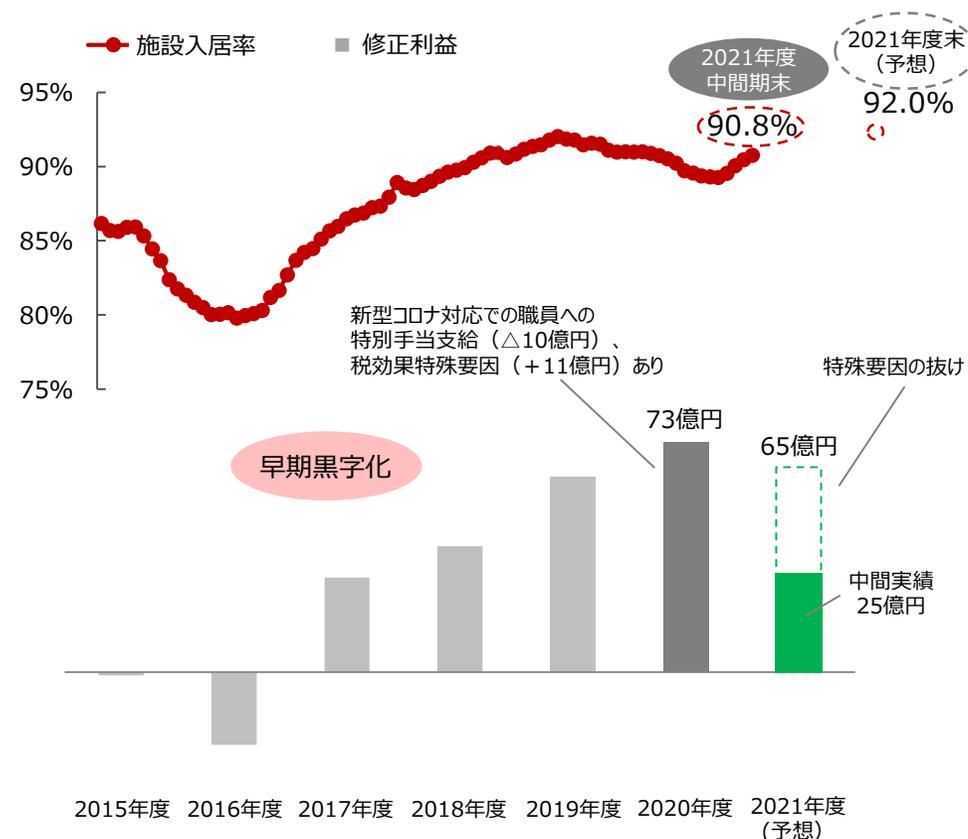
出典：週刊高齢者住宅新聞Online

### SOMPOケアの主な提供サービス



施設入居者数 + 在宅サービス利用者数：約6万人

## SOMPOケアの収益性



---

1. SOMPOホールディングスの概要

2. 中期経営計画の進捗

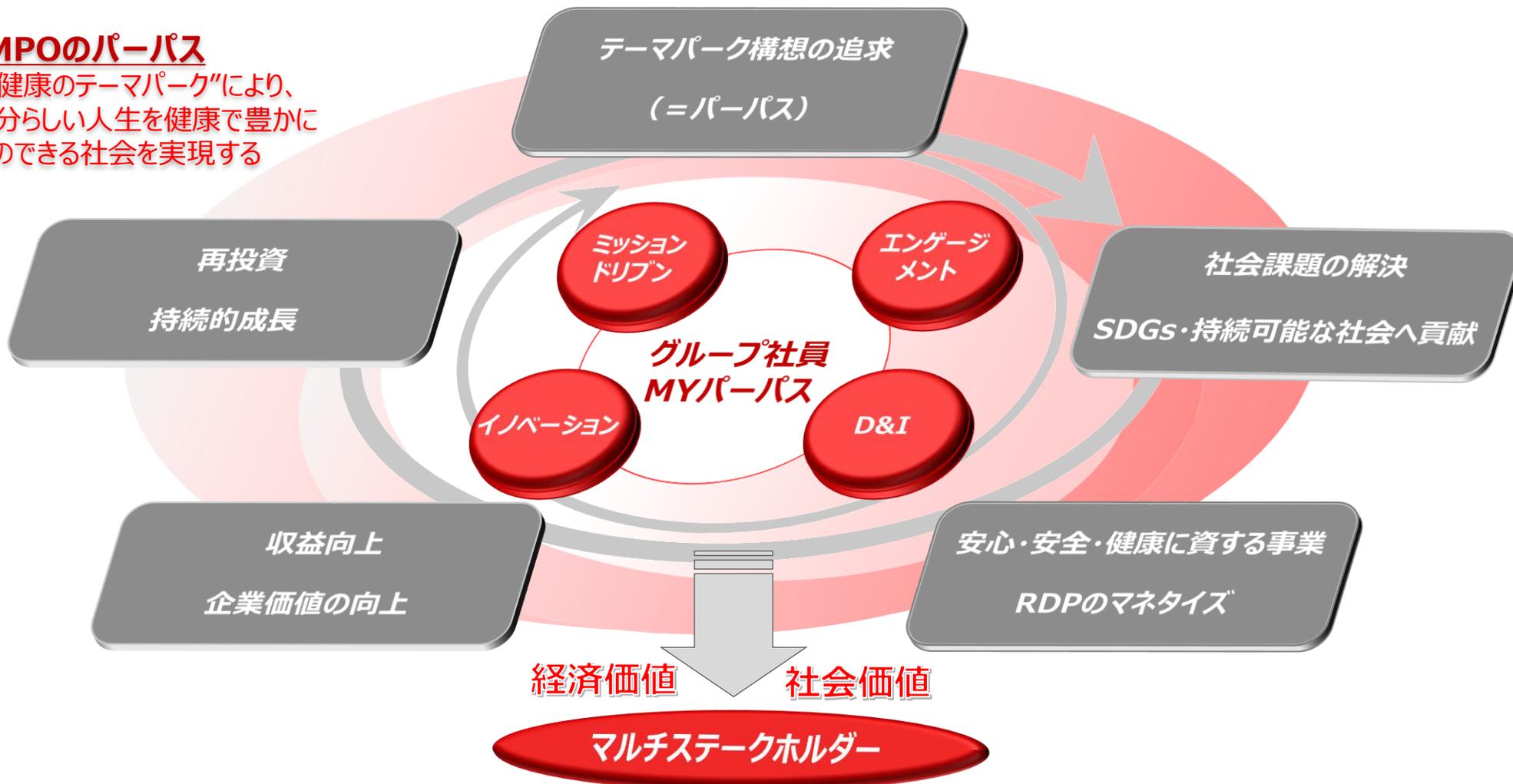
3. 2021年度通期業績予想・中間決算の概要

# SOMPOのサステナブルな成長ストーリー

- SOMPOの強み／ユニークさを軸にパーパスの実現を目指し、SOMPOのサステナブルな成長につなげる
- 未来のビジョンをより確かなものにするため、足もとの成果を着実に積み上げていく

## SOMPOのパーパス

“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する



## 中期経営計画の進捗 – 全体像 –

- 修正連結利益は計画を上回って進捗（次ページ参照）、リスク分散・事業分散は着実に進展
- 介護領域を中心にRDP戦略の取組みは進展、働き方改革や支える経営基盤も計画の遂行をサポート



# 中期経営計画の進捗 – グループ経営数値目標 –

- 経営数値目標に向けて、2021年度中間期は順調なスタート
- 「規模と分散」「新たな顧客価値の創造」の実践により、経営数値目標の達成確度をさらに高めていく

## 経営数値目標

		2020年度実績	2021年度中間期	2021年度予想※1	2023年度計画
修正連結利益		2,021億円	<b>1,487億円</b>	<b>2,100億円</b> (2,050億円)	3,000億円以上※2
修正連結ROE		8.0%	<b>5.3%</b> 年率換算前	<b>7.4%</b> (7.4%)	10%以上
分散効果	リスク分散比率	39.4%	<b>40.2%</b>	<b>40.2%</b> (40.2%)	2020年度比改善
	海外事業比率	14.9%	<b>23.6%</b>	<b>26.9%</b> (29.3%)	30%以上
新たな顧客価値の創造		-	<b>P.18参照</b>	-	商品・サービスの 外販・収益化

※1 かつ書きは期初予想

※2 オーガニック成長を前提とした計画値。想定以上の自然災害影響などによる下振れリスク（△300億円）に対し、M&A実行によって利益上乗せ（+300億円）を図ることで、計画の達成確度を高める

## 規模と分散① – 全体進捗状況 –

- トップラインは、内外保険における各種取組みが確実に進展し、着実な増収
- 国内損保における収益構造改革、海外保険における保有比率の引き上げも着実に実行

### 国内損保事業

#### 収益性の追求による利益拡大・安定的キャッシュ創出

#### (主な取組み)

	中計KPI	21年度中間期	21年度予想
正味収入保険料成長率※1	+1.5%程度（年率）※2	+2.2%（前年同期比）	+2.5%（前年比）
E/Iコンバインド・レシオ※1	91.7%	90.7%	95.0%

- ✓ 火災保険におけるプライシング適正化、アンダーライティング強化
- ✓ 新種保険における新商品の展開
- ✓ その他収益構造改革の着実な進捗

### 海外保険事業

#### レートアップなどによる高い利益成長

#### (主な取組み)

	中計KPI	21年度中間期	21年度予想
グロス保険料成長率※3	+9%程度（年率）※2	+34.5%（前年同期比）	+27.9%（前年比）
E/Iコンバインド・レシオ※3	88%台	92.8%	94.0%

- ✓ 業界平均を上回るレートアップ
- ✓ 保有契約のリスク/リターン改善を背景とした保有比率引き上げ
- ✓ ボルトオンM&Aの実行

### 国内生保事業

#### Insurhealthによる顧客層開拓を通じた収入拡大

#### (主な取組み)

	中計KPI	21年度中間期	21年度予想
新契約年換算保険料※4	500億円	149億円	430億円
保有契約件数	500万件	429万件	443万件

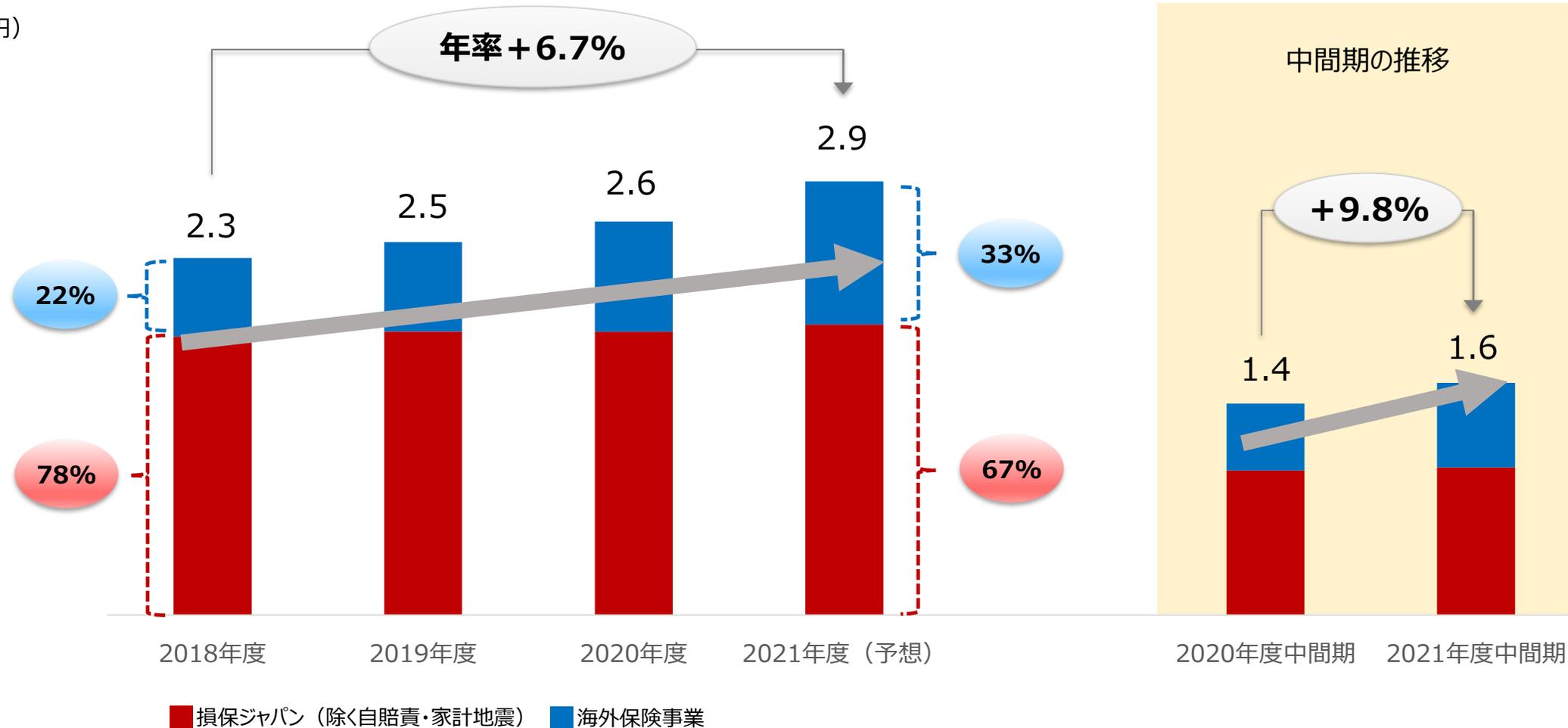
- ✓ 相対的にマージンの厚い保障性商品の保有拡大
- ✓ 新型がん保険の販売開始
- ✓ 新商品を起点とした多種目販売

## 規模と分散② – 規模の拡大 –

- 国内損保事業は計画を上回る着実な成長を達成、海外保険事業はグループの成長エンジンとして大幅な増収を達成
- 結果として、規模の拡大だけでなく、地域の分散が一段と進展

### 正味収入保険料の推移

(兆円)



## 規模と分散③ – 分散の進展 –

- 海外保険事業での規模と分散の進展により、海外事業比率は順調に拡大
- グループベースでのリスクコントロールにより、リスク分散比率も向上

### 海外事業比率

2020年度実績

14.9%

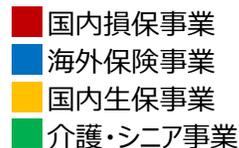


2021年度予想

26.9%



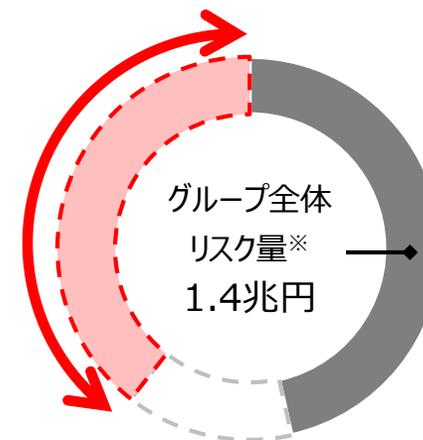
増収、前年度の新型コロナ影響の剥落、運用収益増などにより比率上昇を見込む



### リスク分散比率（分散効果※）

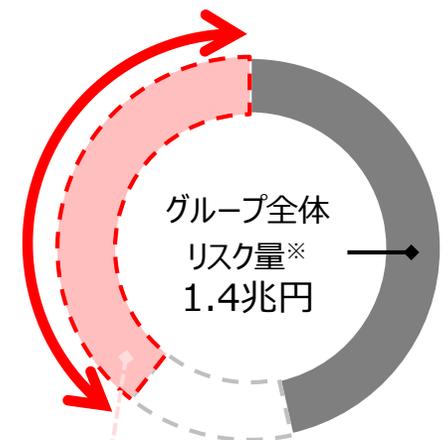
2020年度実績

39.4%

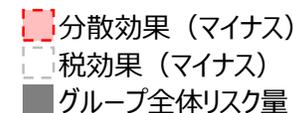


2021年度予想

40.2%



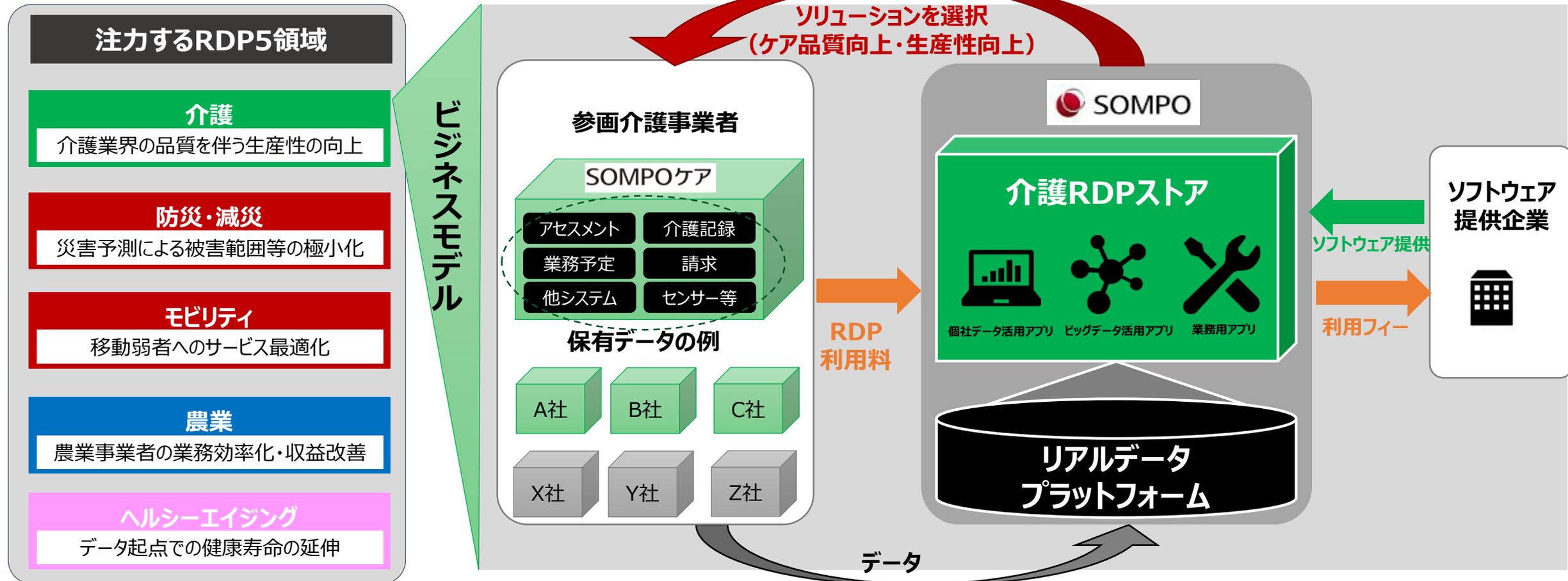
規模と分散、資本効率向上取り組みなどにより比率上昇を見込む



※ リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測  
グループ全体のリスク量：リスク要因毎のリスク量合計－分散効果－税効果

## 新たな顧客価値創造① – 注力する5領域 –

- SDGsなどの社会課題や保有データの視点から選定した5領域のうち、現時点では介護領域での取組みが先行
- 介護業界での大手事業者である当社を実証基盤として、業界の品質と生産性向上を実現するための新たな価値を創造・提供
- SOMPOが介護領域に関するリアルデータ・プラットフォーマーとなることを目指して、まずは成功の鍵となる新たな価値創造に注力





## 新たな顧客価値創造② – 介護RDPの開発状況 –

- プロダクト開発では、自社内の24施設、多様な職種41名と密な対話・フィードバックを約1,000時間重ね、プロダクトアウトではなく現場のニーズ、ワークフローに合わせ開発
- 「見える化」と「たくみのしくみ化」によって8つのモジュールを開発し、実証・検証のうえ、半数の事業化を構想、将来予測の研究も進捗
- これら自社内取り組みと並行して、「仲間作り」として複数のアーリー・アダプター（外部介護事業者）との共同取り組みに向けた協議を進めており、プロダクトの開発・改良・有用性確認プロセスを強化

### SOMPOケア

#### 介護施設現場との密な対話・フィードバック

自社24施設・多様な職種41名のユーザー・週平均20時間（累計約1,000時間）

#### プロダクト開発

SOMPO、Palantir、ABEJAそれぞれのアジャイル開発エキスパートによるワンチーム体制

プロダクト開発のステップ	データ統合「見える化」	「たくみ（ノウハウ）」の「しくみ化」	「予測できる介護」（介護DX）
概念	データが様々なシステムに散在	個人の経験・スキルに依存した施設運営	インシデント発生後の対処が中心
進捗	データ・分析結果を分かりやすく見える化	ノウハウを形式知化し、運営の最適化	将来の状態予測を起点としたケアへ
進捗	自社3施設から開始、24施設まで拡大	8件開発、4件実現可能性検討	身体機能等の変化予測を研究中

### 外部の介護事業者

#### アーリー・アダプター

施設からの  
フィードバック



RDPのモジュールを  
自社データ・業務に  
活用

「仲間作り」による  
プロダクト開発・  
改良・効果検証

共同取り組みアプローチ  
（ソフトウェア提供）

ニーズやペインポイント  
に対する効果の  
フィードバック

## 新たな顧客価値創造③ – 介護RDPの取組み進捗 –

- RDP利用料の単価設定、販売チャネルの確立など、必要な取組みを洗い出し、プロダクト開発・「仲間作り」と同時並行で実践
- 初期段階として、介護施設向けのソリューションと、介護のリアルサービスを組み合わせ、数百億円規模の事業を創出
- その後、在宅介護や介護周辺事業とのエコシステムの形成、課題先進国として海外へのソリューション提供へと段階的にビジネス拡大

### 介護RDPの事業規模

単価

×

事業者数

+

その他

||

中長期目標  
数百億～1,000億円

### 中長期目標の達成に向けた主な取組み

- 自社施設による効果検証（深化・拡大）
- 導入効果の見える化
- 付加価値の向上（予測モデルの開発等）

効果を明確化し設定

- 他事業者のニーズ・データ環境の確認
- 展開チャネルの確立
- 周辺事業者との連携

初期的なターゲット 400社以上  
(施設数に応じて提供)

- 介護食や経営コンサル、集中購買など、リアルサービスのソリューション提供
- 介護施設以外（在宅介護、ケアラーなど）を巻き込んだエコシステム形成
- 少子高齢化の課題に向き合う先進国をはじめとした海外展開

- 初期的には“介護施設”向けのRDP+リアルサービスで数百億円規模を創出
- 在宅介護、介護周辺（医療機関・調剤薬局等）、海外と段階的に拡大

# 中計達成に向けた成長投資

- 経営数値目標達成の確度向上、および長期的な成長性向上を目的とした資本配賦は順調に進捗
- 新たな顧客価値創造につながるデジタル領域への投資については、これまでの投資案件も含め、着実に協業が進捗

## 成長投資進捗

中計での成長投資  
への資本配賦

6,000億円規模

規律を重視しつつ将来成長を見据えた投資を実行中

現時点での投資実績：400億円程度

### 規模と分散



イタリアの農業保険  
プレイヤー買収



インシュアテック企業への戦略的出資

### 新たな顧客価値創造



SOMPO LIGHT VORTEX  
デジタル事業推進の中核会社設立



wejo  
コネクテッドカーデータ  
関連企業への戦略的出資



AI関連ベンチャーとの資本業務提携

## 投資領域

保険



デジタル・  
新事業

- ✓ 収益力向上
- ✓ 事業ポートフォリオの分散
- ✓ レジリエンス向上

- ✓ 長期目線での社会課題解決
- ✓ 事業ポートフォリオの変革
- ✓ 持続的な成長力向上

### デジタル関連投資（除くPalantir）

- ✓ 2016年以降、新たな事業創出・戦略的リターンを目的に投資
- ✓ 投資先との協業が進捗している案件は全体の約6割

進捗中（遅延を含む）／協業実現

検討中止／停滞

- ✓ 投資先の事業成長に伴い、投資価値も上昇（直接投資案件+VC投資）

出資総額：約300億円



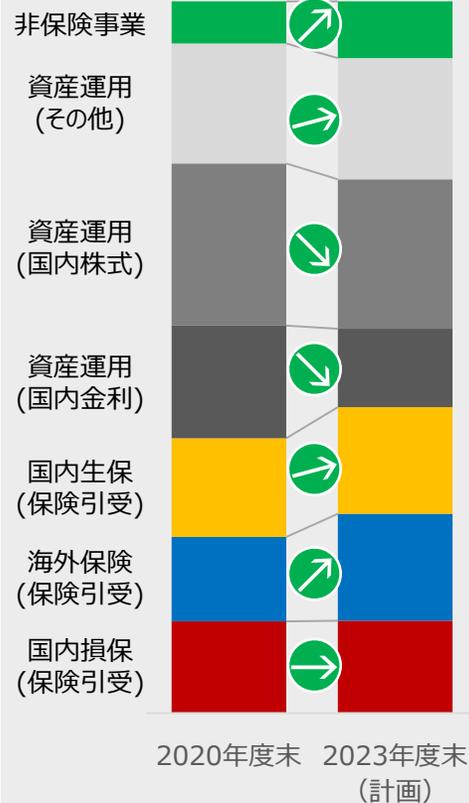
現在の株式価値（当社試算）：約600億円※

※ 直接投資案件：非上場株式のため、直近の増資時評価を基に株式価値を当社にて試算  
VC投資：回収金額および残存時価の総額を当社にて試算

# 資本政策・ERM① –リスクの削減–

- 資本効率向上に向けたリスク削減の取組みは順調に進捗
- 既存事業の資本効率改善に加え、資本効率の高い領域への資本配賦を行い、グループの資本効率改善を図る

## リスクの方向性



## 国内金利リスクの削減

### ■ ひまわり生命による超長期債※1購入額

2021年度中間期	中計での目標額
1,588億円	3,000億円/年

リスク量  $\Delta$ 200億円 (前年度末対比  $\Delta$ 3.8%)

## 政策株式の削減※2

2021年度中間期	中計での目標額
199億円※3	500億円/年

リスク量  $\Delta$ 88億円 (前年度末対比  $\Delta$ 1.3%)

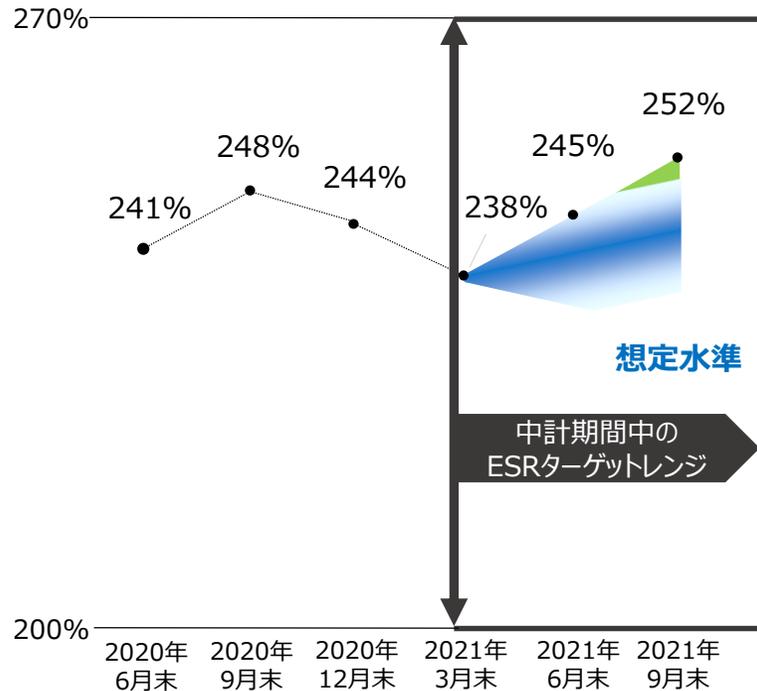
**修正連結ROE  
10%以上の達成**

資本コスト（7%程度）を上回る  
資本効率の達成

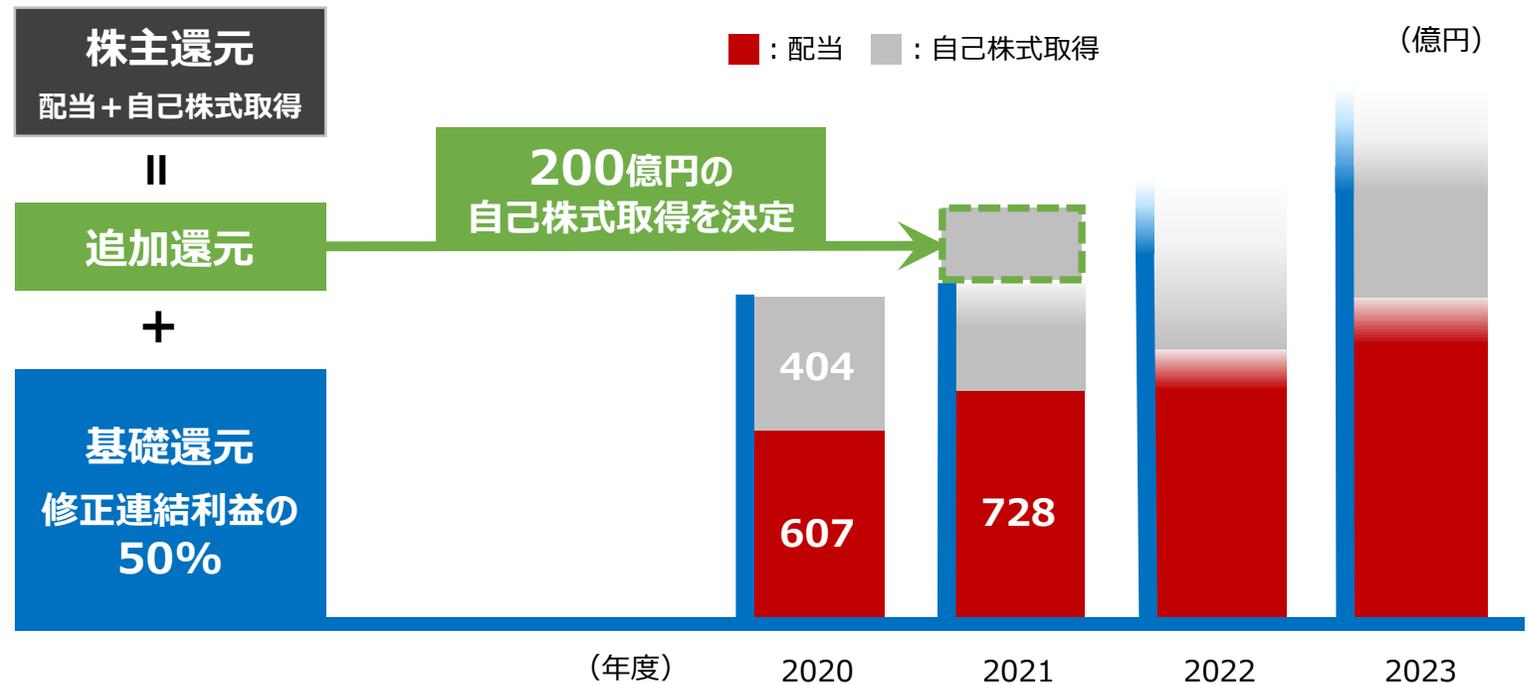
## 資本政策・ERM② – 株主還元 –

- 直近の資本余力が計画策定時の水準を安定的に上回る見込みであることから、追加還元として200億円の自己株式取得を決定
- 今後も、規律ある成長投資を実行しつつ、経営環境と資本状況を踏まえた魅力的な株主還元を継続

### ESRの状況



### 株主還元\*



#### 追加還元を検討するにあたっての確認項目

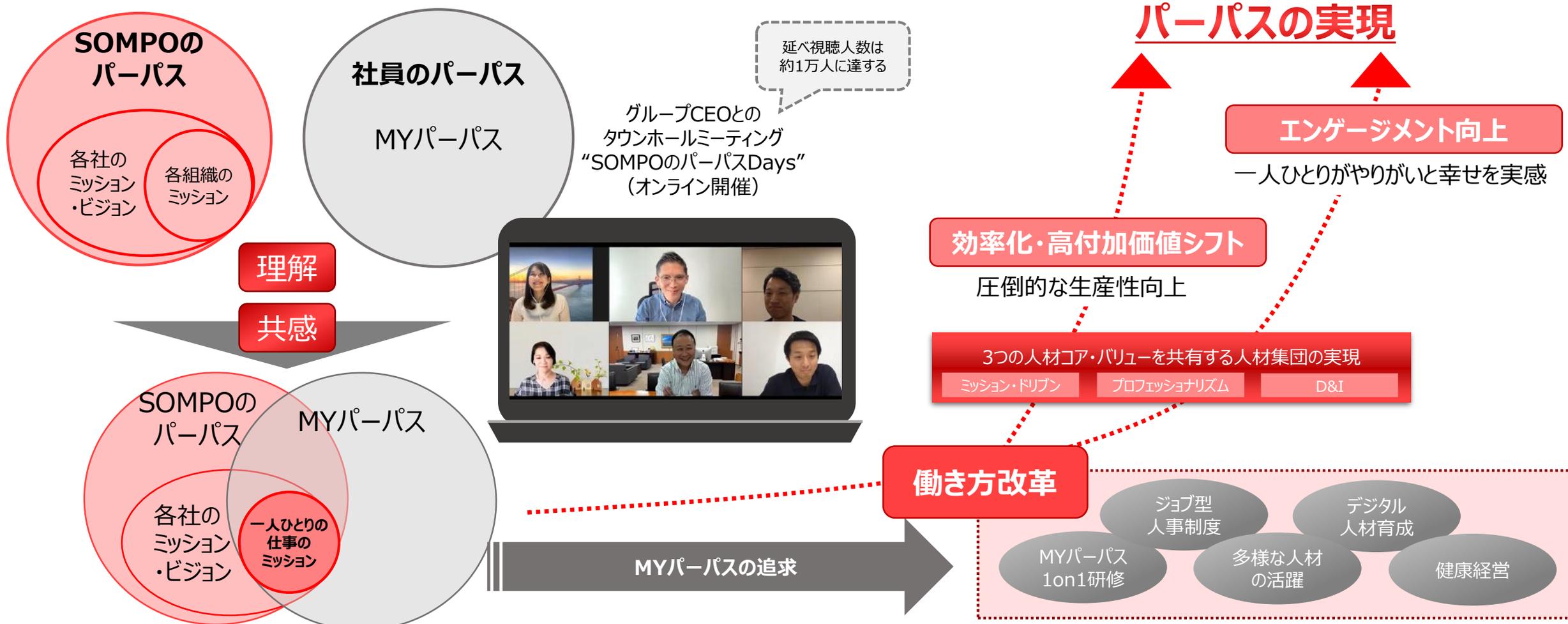
- ESRターゲットレンジ上限を恒常的に超過する場合
- 自然災害等の一過性要因による減益時に前年度還元額の維持
- 大型M&A等の成長投資が見通せない場合
- ✓ その他資本効率改善等が必要と判断した場合

	2020	2021	2022	2023
1株あたり配当金	170円	210円 (予想)	...	...
総還元性向	50%	...	...	...

※ 2021年度以降はイメージ

# 働き方改革

- グループ社員一人ひとりが、MYパーパスにSOMPOのパーパスを重ね合わせることで、セルフ・ドリブンな働き方を実現する
- これによって、働き方改革の目的である「一人ひとりのやりがいや幸せ」「生産性の向上」を達成し、SOMPOのパーパス実現につなげる



# SDGs経営

- ・ パーパス実現に向けたマテリアリティKPIを定めることで、達成状況やアクションを明確化し、事業戦略と連動したPDCAを実践
- ・ 統合レポートを、パーパス実現に向けたSOMPOの戦略・取組みを訴求するための重要な情報開示ツールと位置付け、抜本的に見直し

## マテリアリティKPI

取り巻く社会課題の洗い出し

向き合う社会課題とSDGsの関係性に基づき、優先的に取り組む課題を特定

7つのマテリアリティとして体系化

### マテリアリティKPI

事業戦略	働き方改革	環境/社会貢献	36
22	8	6	

経済価値 ✖ 社会価値

「事業計画上の取組み = 社会価値創出」となるようKPIをセット  
(36項目中30項目が各事業の中計指標)

→ パーパス実現の取組みと事業計画を連動させる仕組み

## 統合レポート2021

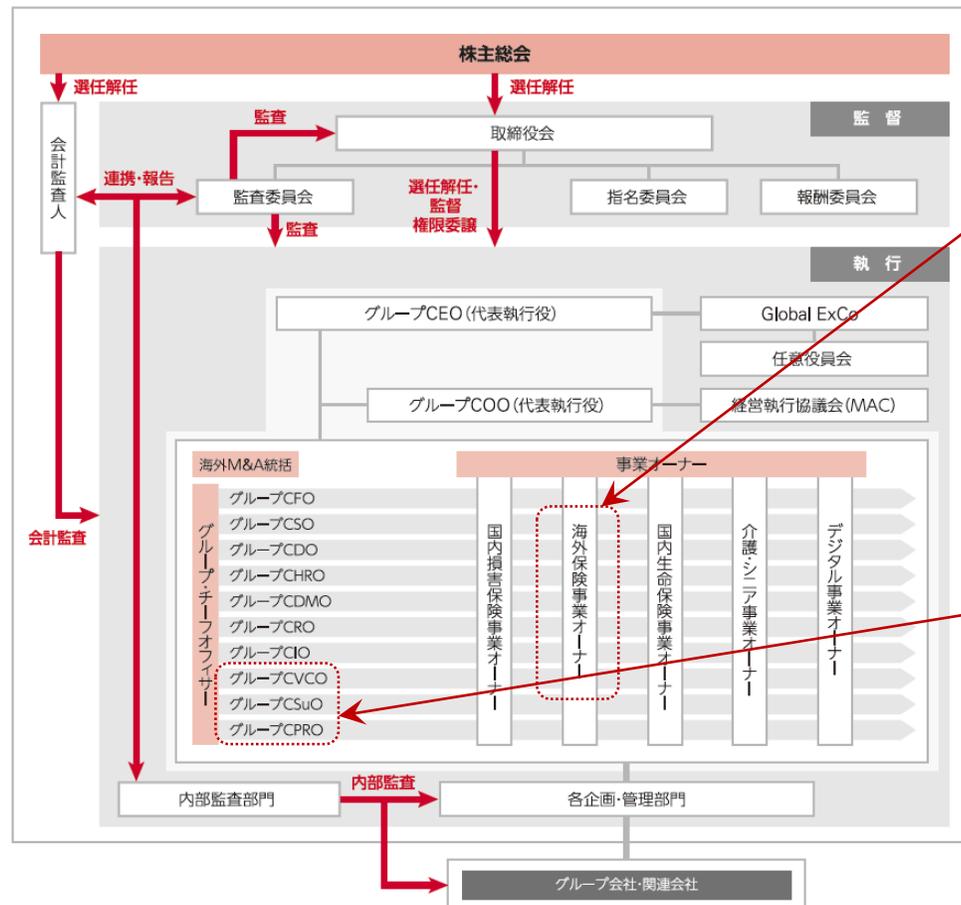
The image displays several key pages from the 2021 Integrated Report. On the left is the 'Group CEO Message' featuring a video of the CEO, Shirohiko Hironaka, discussing the company's progress. The middle section shows the '2021-2023 Medium-Term Business Plan', highlighting the 'Three Basic Strategies' (1. Strengthening core businesses, 2. Expanding into new businesses, 3. Improving efficiency) and the 'SOMPO Group Strategy' (SOMPO Group Vision, SOMPO Group Strategy, SOMPO Group Policy). On the right is the 'SOMPO Group Strategy' section, which details the company's vision and strategy for the future. The bottom part of the image shows a detailed view of the 'Value Creation Process' and 'SOMPO Group Strategy' section, which includes a flowchart of the value creation process and a table of key performance indicators (KPIs) for each business unit.



## ガバナンス

- ・サクセッション・プランに基づき、2021年9月1日付で海外保険事業オーナーを交代
- ・CVCOの下、VCTを新設し、パーパス経営とサステナビリティ推進を通じたブランド価値・企業価値向上に向けた体制を整備・強化

## コーポレート・ガバナンス体制図



## ✓ 海外保険事業オーナーの交代

退任の申し出があったジョン・チャーマン氏に代わり、サクセッション・プランに基づき、海外保険事業オーナーとしてジェイムス・シェイ氏が就任

## ✓ Value Communication Team (VCT) の新設

- ・ Group Chief Value Communication Officer
- ・ Group Chief Sustainability Officer
- ・ Group Chief Public Relations Officer

により構成されるVCTを新設

- パーパス経営とサステナビリティ推進を通じ、未財務価値の向上に向けて連携して取り組む
- マルチステークホルダーと効果的なコミュニケーションを図ることで、ブランド価値・企業価値の向上を実現する

## 事業別KPI

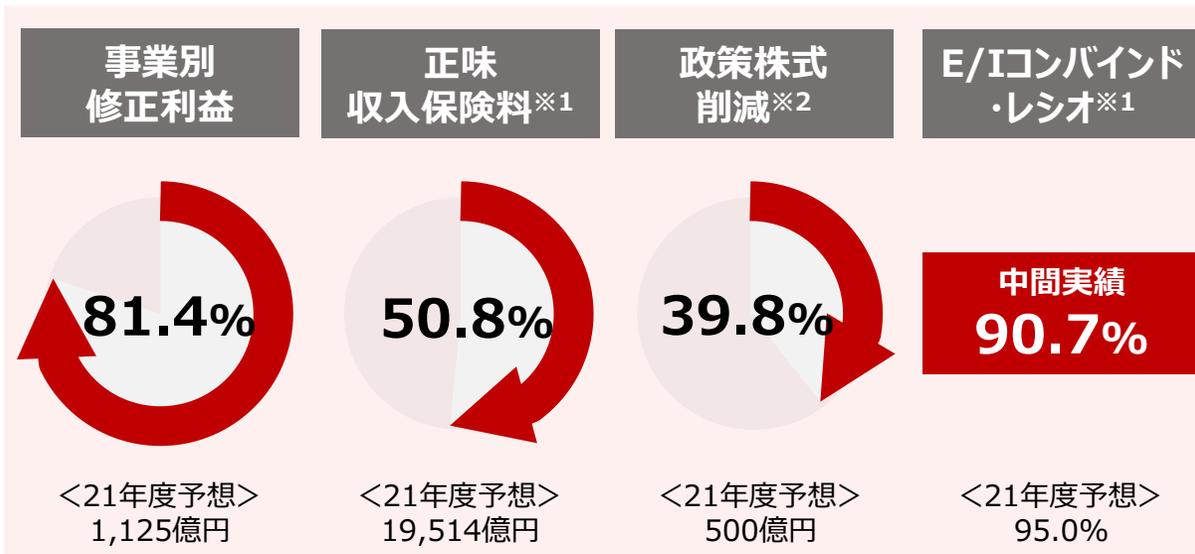
- グループ経営数値目標達成に向け、事業別修正利益に加え、トップライン目標、収益性目標をKPIとして設定
- 通期予想に向けた各事業の中間期実績は順調に進捗

国内 損保	2021年度中間期	2021年度予想※7	2023年度計画	海外 保険	2021年度中間期	2021年度予想※7	2023年度計画
事業別修正利益	916億円	1,125億円 (1,050億円)	1,500億円以上	事業別修正利益	351億円	565億円 (600億円)	1,000億円以上
正味収入保険料※1	9,912億円	19,514億円 (19,293億円)	20,000億円	グロス保険料 成長率※5	+34.5%	+27.9% (+10.2%)	年率+9%程度
E/I コンバインド・レシオ※1	90.7%	95.0% (94.8%)	91.7%	E/I コンバインド・レシオ※5	92.8%	94.0% (91.7%)	88%台
政策株式削減	199億円※2	500億円 (500億円)	500億円/年 3年間累計：1,500億円				
国内 生保	2021年度中間期	2021年度予想※7	2023年度計画	介護・ シニア	2021年度中間期	2021年度予想※7	2023年度計画
事業別修正利益	185億円	325億円 (325億円)	400億円以上	事業別修正利益	25億円	65億円 (65億円)	80億円以上
新契約 年換算保険料※3	149億円	430億円 (430億円)	500億円	売上高	673億円	1,377億円 (1,375億円)	1,620億円
保有契約件数	429万件	443万件 (443万件)	500万件	入居率	90.8%	92.0%※6 (90.8%)	93.8%※6
ALM資産投入額※4	1,588億円	3,000億円 (3,000億円)	3,000億円/年 3年間累計：9,000億円				

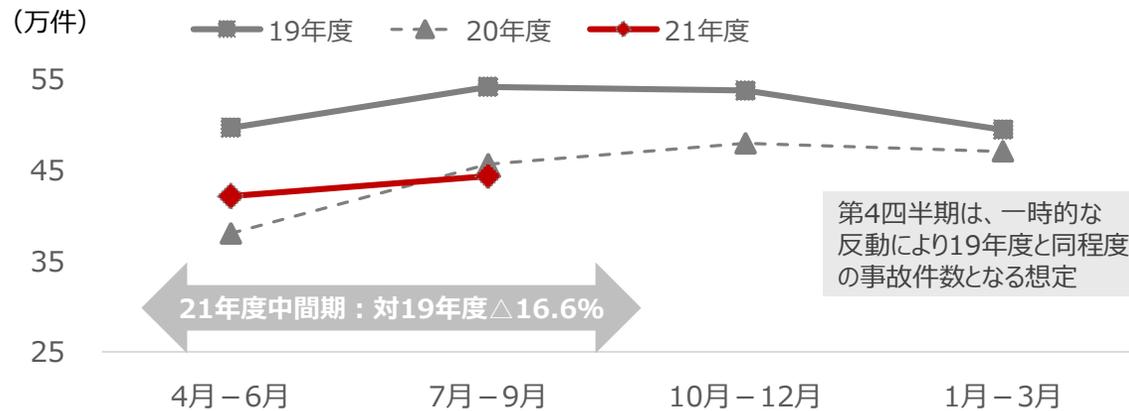
※1 損保ジャパン（除く自賠責・家計地震） ※2 先物を含む ※3 営業成績ベース ※4 30年債換算 ※5 SICマーシャル ※6 年度末時点 ※7 かつこ内は期初予想

# 国内損保事業① – 進捗状況 –

## 中間期KPI進捗 (vs21年度予想)



## (参考) 自動車事故件数※3の推移 (月別)



## 21年度KPI進捗のポイント

1

### ✓ 事業別修正利益

- ・プライシングの適正化やテクノロジーを活用したアンダーライティングの取組み強化などにより、収益構造改革の効果が着実に発現

2

### ✓ 正味収入保険料

- ・収益構造改革の進展などによる火災保険の増収、ビジネスマスター・プラス※4を軸とする新種保険の拡販により、順調に拡大

3

### ✓ E/Iコンバインド・レシオ

- ・基盤システム刷新による償却負担の増加があるも、要員削減などにより、事業費率、社費率ともに計画対比で良好に推移
- ・国内自然災害の減少を主因に損害率が低下

※1 損保ジャパン (除く自賠責・家計地震)

※2 先物を含む

※3 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

※4 企業を取り巻く様々なリスクをカバーできる中小企業向けのパッケージ商品

# 国内損保事業② – 収益構造改革 –

- これまで取り組んできたプライシング適正化や高損契約の引受条件改善による効果が着実に発現

## 収益構造改革

### プライシング適正化

2021年度中間期

+99億円

2021年度予想

+188億円

#### ■ 主な取組み

- ・築年数等を踏まえた火災保険の値上げ（21月1月実施済）

### 生産性向上

2021年度中間期

+8億円

2021年度予想

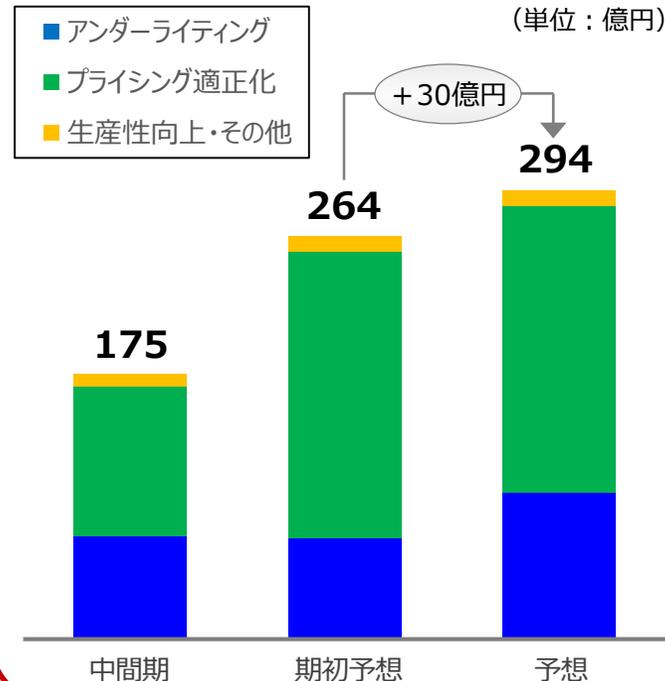
+10億円

#### ■ 要員削減に向けた生産性向上施策

- ・デジタルを活用した生産性向上に資するPoCの推進
- ・データ生成・分析、現場支援等の本社部門に共通する課題のデジタルを活用したソリューション創出に着手

全62件 うち本番開発+PoCフェーズ：36件

### 収益構造改革効果（2021年度）



### アンダーライティング

2021年度中間期

+67億円

2021年度予想

+96億円

期初予想から+30億円増に  
上方修正

大企業向け高損対策

効果：43億円

中小企業向け高損対策等

効果：24億円

#### ■ 主な取組み

- ・Palantirのテクノロジーを活用し、中小規模高損契約対策を展開
- ・22年度から新種保険へ拡大予定

# 国内損保事業③ – トップライン成長に向けた取組み –

## 新種保険・火災保険を中心としたトップライン拡大

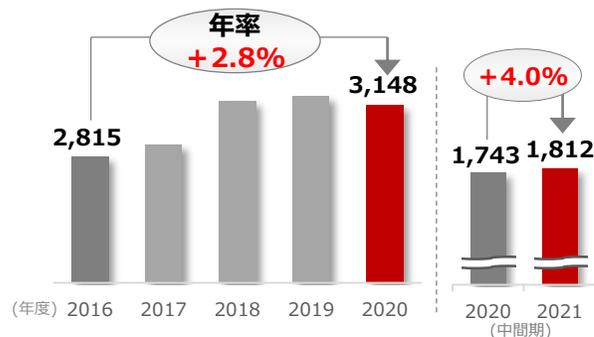
新種保険・火災保険ともに順調に拡大、引き続き、マーケティング戦略を展開するとともに、さらなる成長を加速

ビジネスマスター・プラスのさらなる拡販 ← 新種のトップライン成長を牽引

テクノロジーを活用した火災保険の  
アンダーライティング適正化

正味収入保険料（種目：その他 / 単位：億円）

- 保険設計や加入手続きの簡便さを活かしたお客さま数の拡大
- Palantirと連携したAIアンダーライティングによるトップラインの押し上げ
- 幅広いオプションのラインナップを切り口とした保険料単価の向上
- 新種保険へ拡大予定



### <今後の取組み>

- ・オンライン上のデータの自動収集・分析による引受プラットフォームの構築
- ・衛星・航空写真を活用した財物リスクサーベイによるプライシングの精緻化

PLANCK

Geo.X

## ニューマーケットの創造と開拓

- 再生可能エネルギー向けのソリューションの開発 など
- 防災・減災に関するサービス開発 など

SDGsに対応した商品

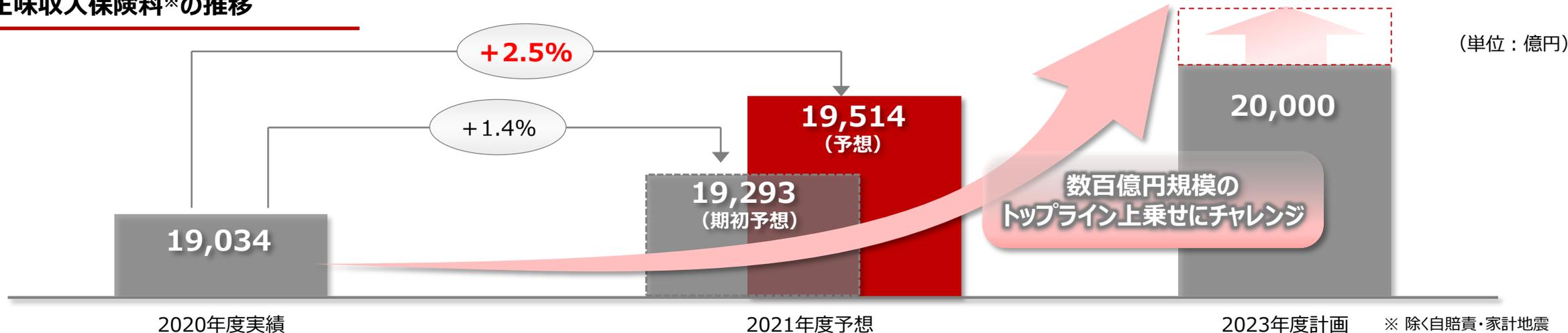
社会課題の解決による  
更なる成長戦略

宇宙関連マーケット

デジタル関連保険

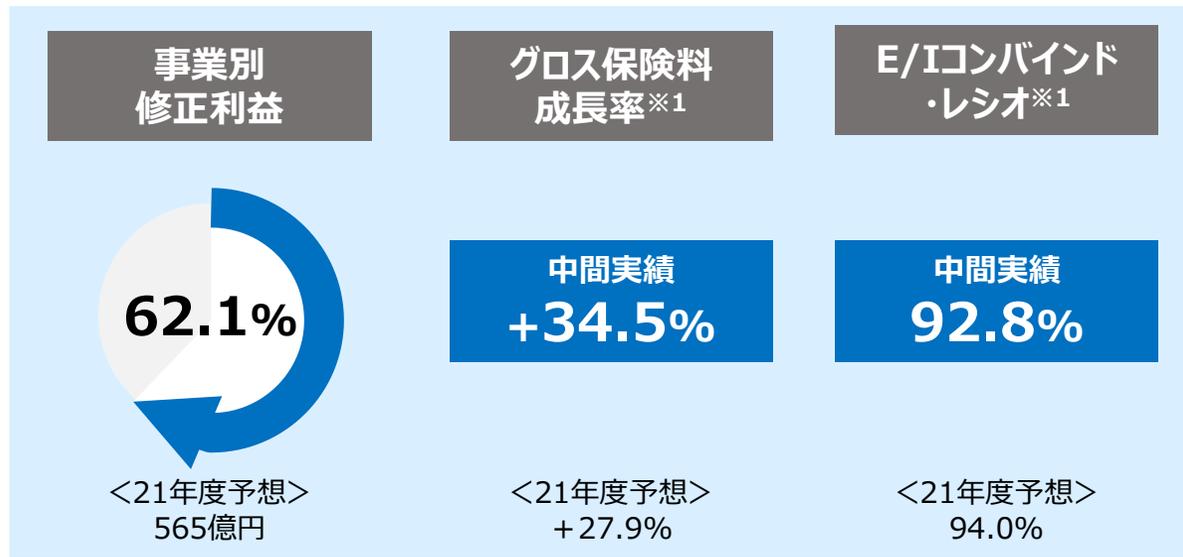
- スタートアップ等と連携したノウハウ構築 など
- プラットフォーマーと連携したマーケットへのアプローチ など

## 正味収入保険料※の推移



## 海外保険事業① – 進捗状況 –

### 中間期KPI進捗 (vs21年度予想)



### (参考) 自然災害の状況

- ◆ 2021年9月末の自然災害発生損※2 440億円程度  
(通期予想では550億円程度の自然災害予算を織り込む)
- ◆ 2021年度の全世界の推定業界ロスは10兆円超の可能性
  - 主な災害：米国ハリケーン・アイダ、テキサス寒波、欧州洪水

### 21年度KPI進捗のポイント

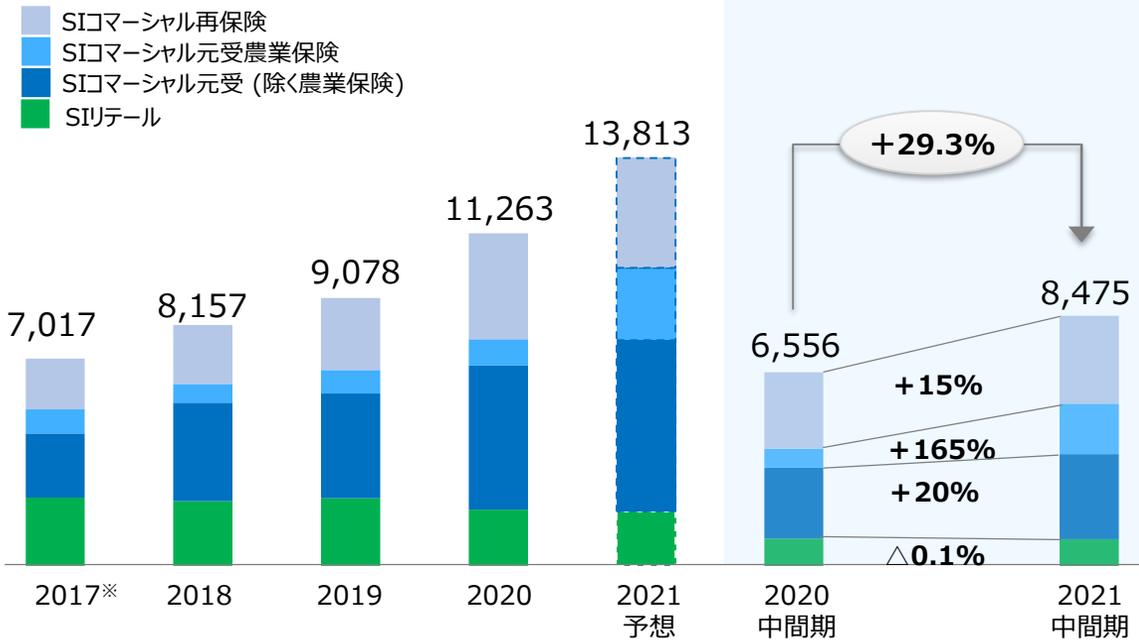
<b>1</b>	✓ <b>事業別修正利益</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SIコマーシャルの2021年度修正利益は期初計画の達成を見込む</li> <li>・ SIHは、海外リテール事業を統合し監督を強化コントロールの効いたフレームワークにより強固な事業体制へ</li> </ul>
<b>2</b>	✓ <b>グロス保険料成長率</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SIコマーシャルのグロス保険料は計画を上回る伸び</li> <li>・ グローバルな販売網とアンダーライティング能力を活かし、利益成長を継続</li> </ul>
<b>3</b>	✓ <b>E/Iコンバインド・レシオ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SIコマーシャルは、ハードマーケットを追い風にして収益性をさらに改善</li> <li>・ 自然災害の頻発化・激甚化の中で、分散したポートフォリオを構築</li> </ul>

## 海外保険事業② – 規律を伴ったトップライン成長 –

- SIコマーシャルはオーガニック成長とDiversified社の統合により拡大
- ほぼ全ての種目で魅力的なマーケットトレンドが継続

### SIHのグロス保険料の増収

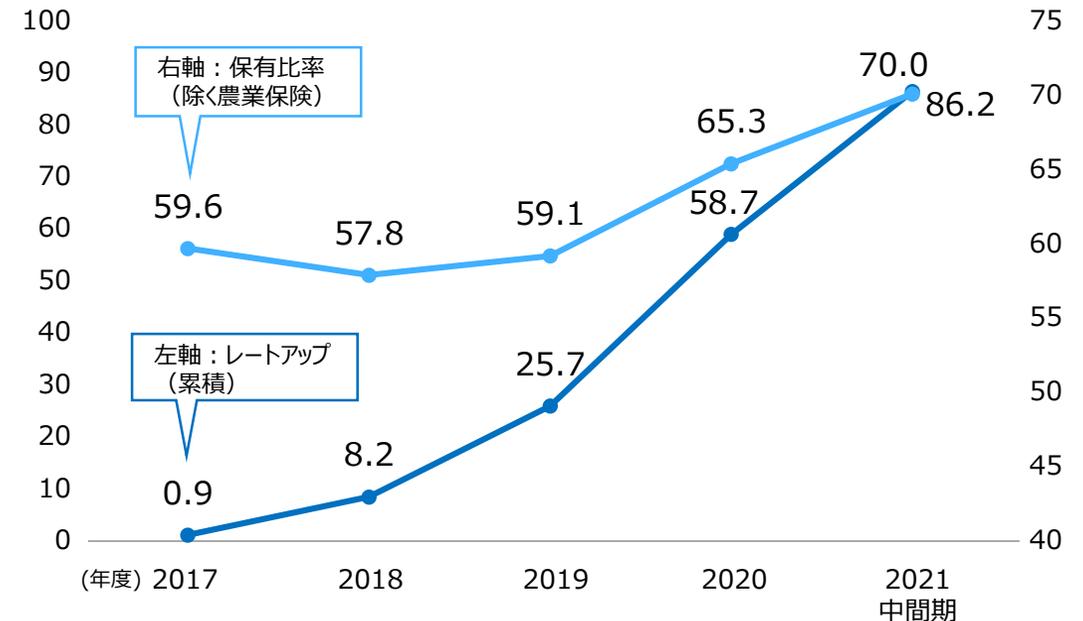
(百万ドル)



- Diversified社の統合と作物価格の上昇により農業保険が大幅成長
- 引き続き良好なプライシング環境により、元受 (除く農業保険) と再保険のグロス保険料も引き続き拡大

### プライシングと保有比率

(%)



- やや減速は見られるも、保険料率の上昇傾向は継続しており、支払単価の上昇トレンドを上回っている  
収益性の高まった契約の保有比率を戦略的に引き上げ
- 前年度のプライシングの改善は2021年度の利益に寄与

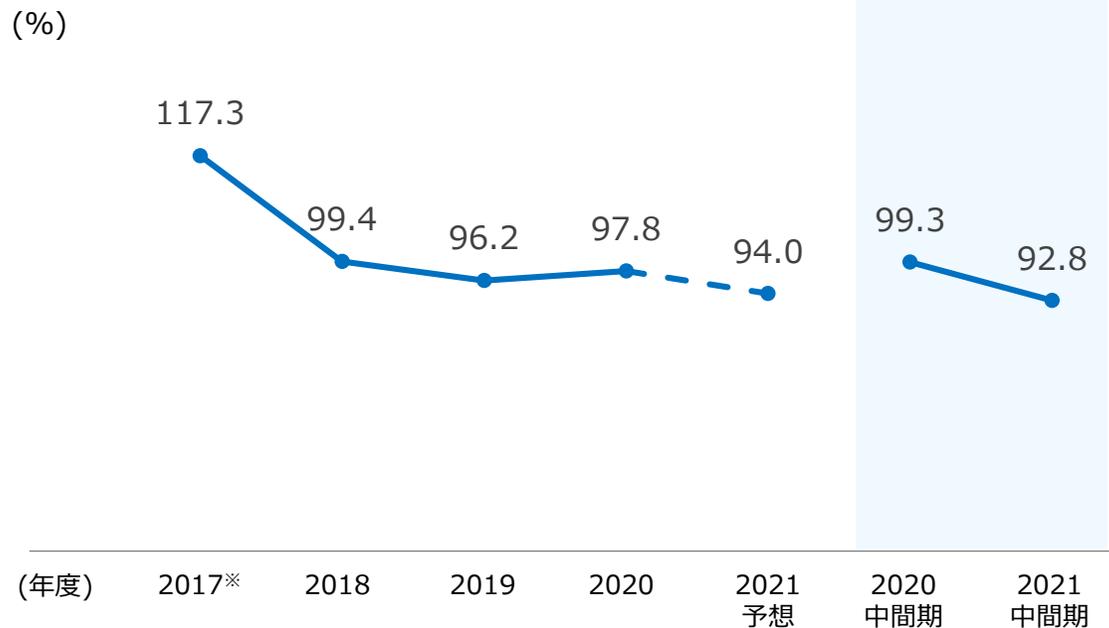
※旧Sompoアメリカなどの数値を除く

## 海外保険事業③ – SIコマーシャルの収益性向上 –

- SIコマーシャルの自然災害・新型コロナ影響はピア対比で軽微
- レートアップ、保険料規模拡大によるスケールメリットにより、2021年度中間期のSIの収益性は向上

### SIコマーシャルのコンバインド・レシオ

(%)

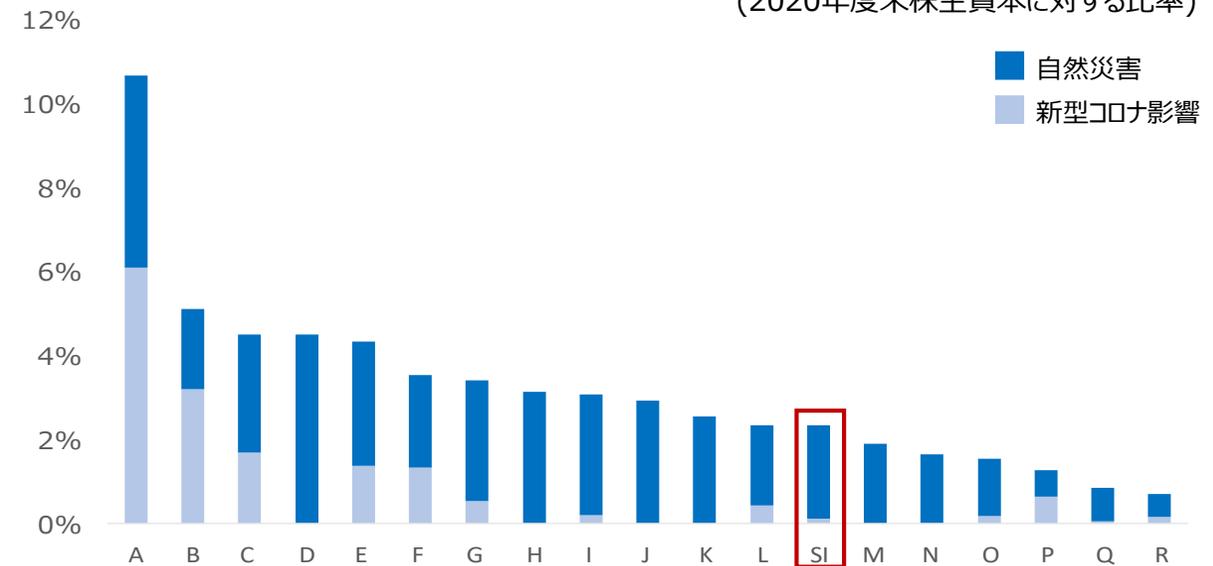


#### 【2021年度中間期の状況】

- コンバインド・レシオ： 前年同期及び計画対比で良好
- 損害率： 計画を超過（自然災害：概ね計画どおり）
- 事業費率： 計画対比で良好

### 自然災害と新型コロナ影響のピア比較（2021年度中間期）

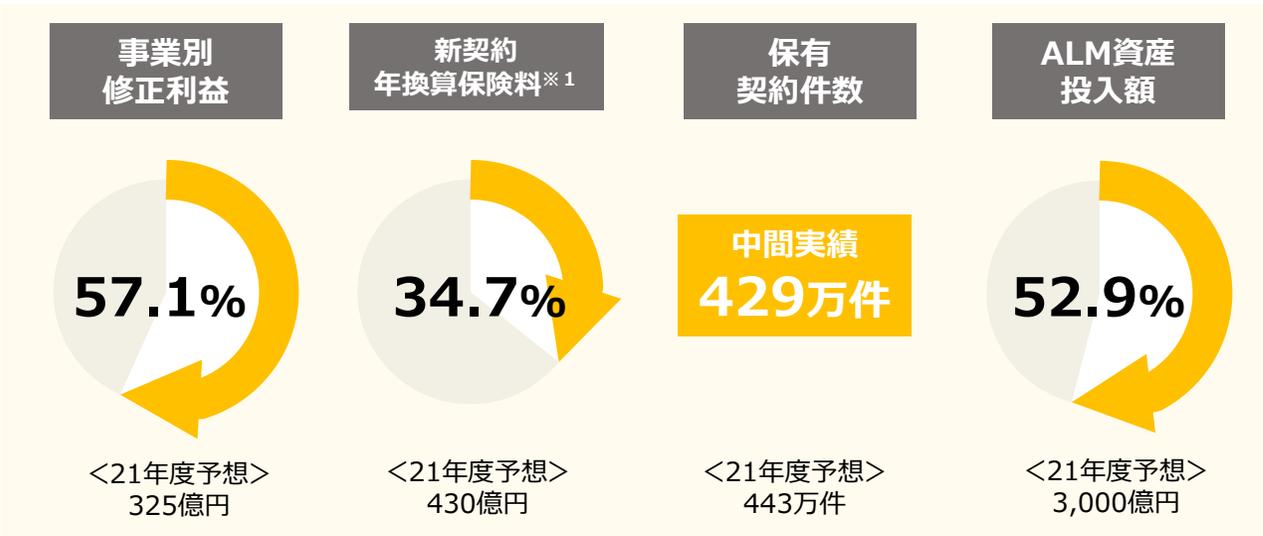
(2020年度末株主資本に対する比率)



- 2021年度第1四半期は、業界全体がテキサス州の寒波の影響を被るも、第2四半期の自然災害影響は軽微
- 2021年度の業界新型コロナ損害は、一部生保社では影響を受けるも、マーケット全体は前年度備金を十分に積んでおり、影響軽微

# 国内生保事業① – 進捗状況 –

## 中間期KPI進捗 (vs21年度予想)



### (参考) 新契約年換算保険料 (決算公表基準)

	2019年度	2020年度	2021年度	2019年度対比
ひまわり生命(中間期)	120億円	113億円	131億円	+9.4%
ひまわり生命(第1四半期)	55億円	42億円	65億円	+17.9%
業界他社(第1四半期) <sup>※2</sup>	5,312億円	2,414億円	4,444億円	△16.3%

## 21年度KPI進捗のポイント

1

- ✓ **事業別修正利益**  
保障性商品の保有増加等により順調

2

- ✓ **新契約年換算保険料**
  - ・21年度予想は、対前年+44%と意欲的  
中間期は新型コロナ拡大前の2019年度と比べて好調で、  
第1四半期の業界他社実績を大きく上回る
  - ・21年10月2日発売の新がんInsurhealthは、  
発売後1か月半で販売3万件突破と好スタート  
本商品を起点とした他種目販売等の対策により、  
年間計画の達成を目指す

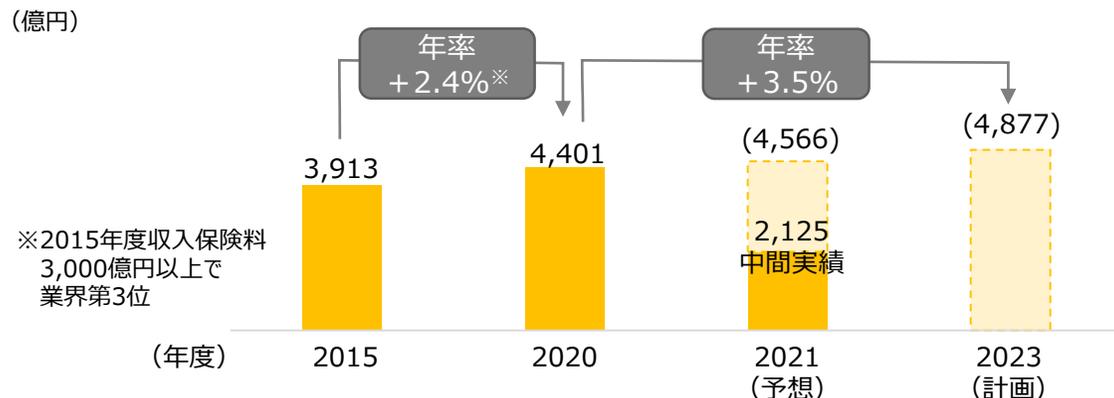
3

- ✓ **ALM資産投入額**  
年3,000億円の目標に対し、21年度中間期で  
1,588億円と順調に進捗

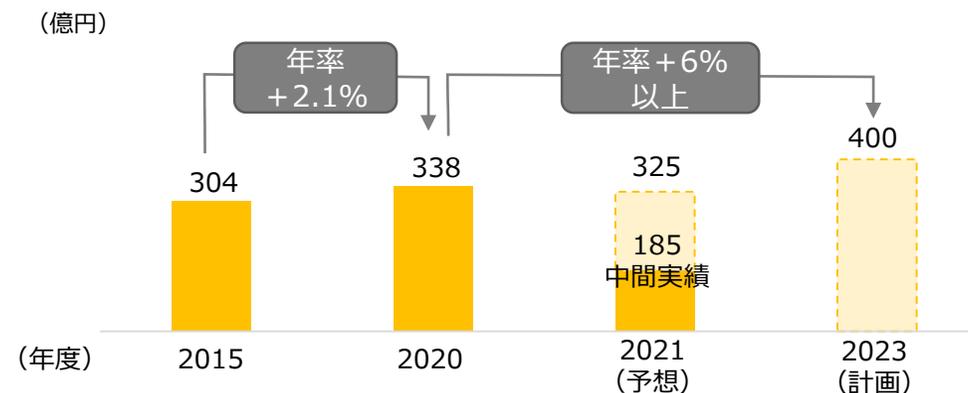
# 国内生保事業② – 各重点指標の状況 –

- 業界トップクラスの収入保険料成長率と、高収益Insurhealthによる販売戦略により、修正利益拡大を図る
- 金利リスク削減のため、MCEVの金利感応度を2023年度末にほぼ半減させるべく、ALM資産を計画通り投入

## 収入保険料推移

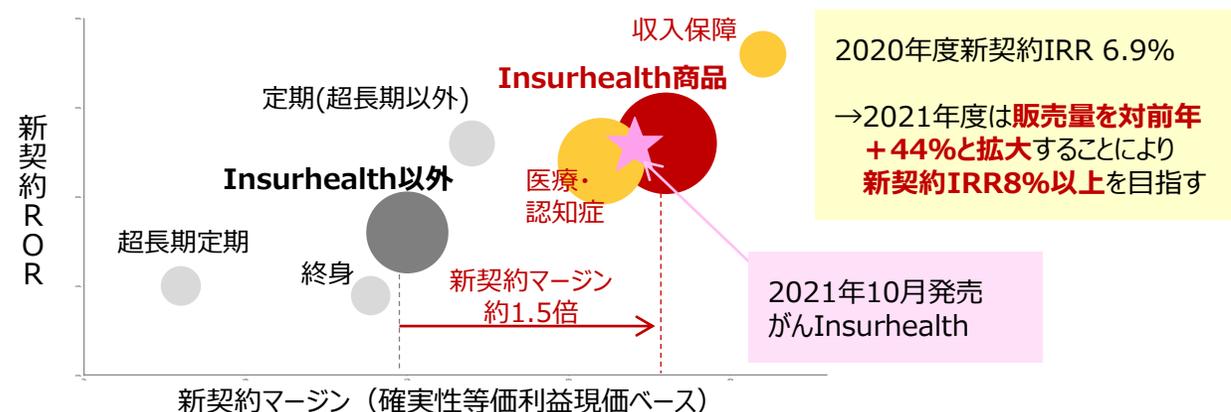


## 修正利益推移



## 新契約RORと新契約マージンの2軸による収益管理

2020年度 新契約マージン: 13.5% (国内EV開示会社中トップクラス)  
(2021年中間期実績 14.8%)

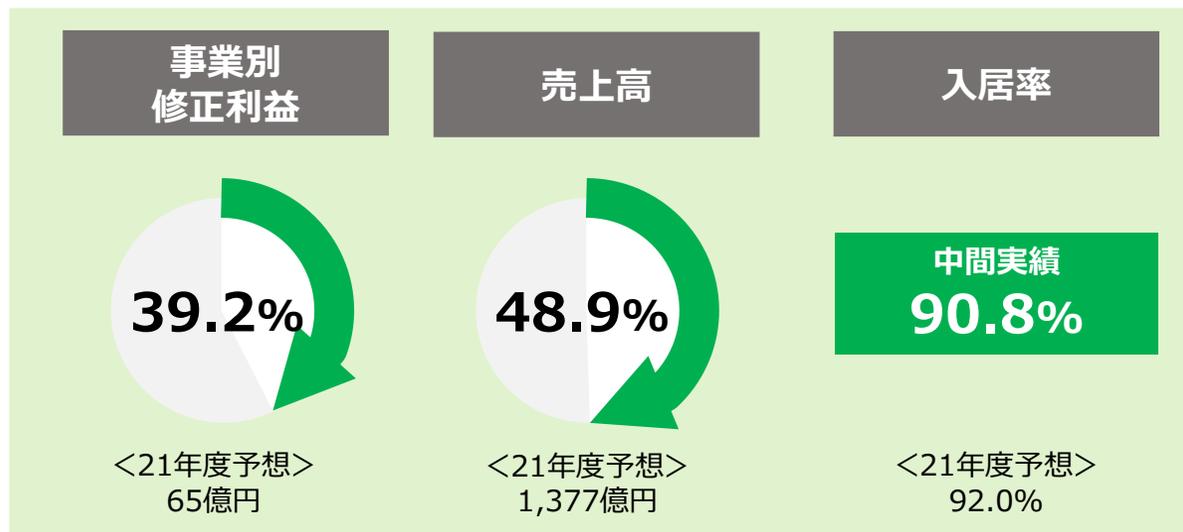


## 金利リスク削減策によるMCEV感応度低減

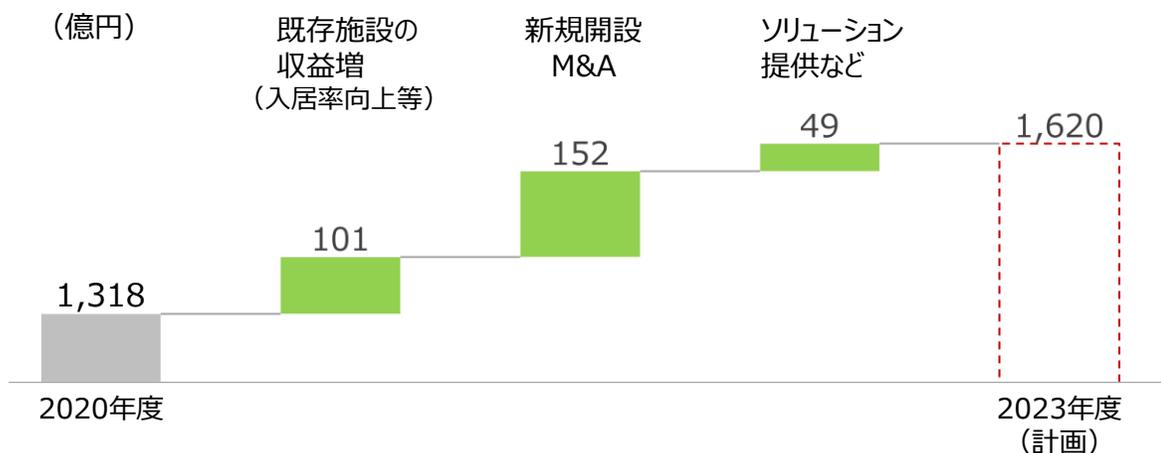


# 介護・シニア事業① – 進捗状況 –

## 中間期KPI進捗 (vs21年度予想)



## (参考) 中計期間中の戦略別増収計画

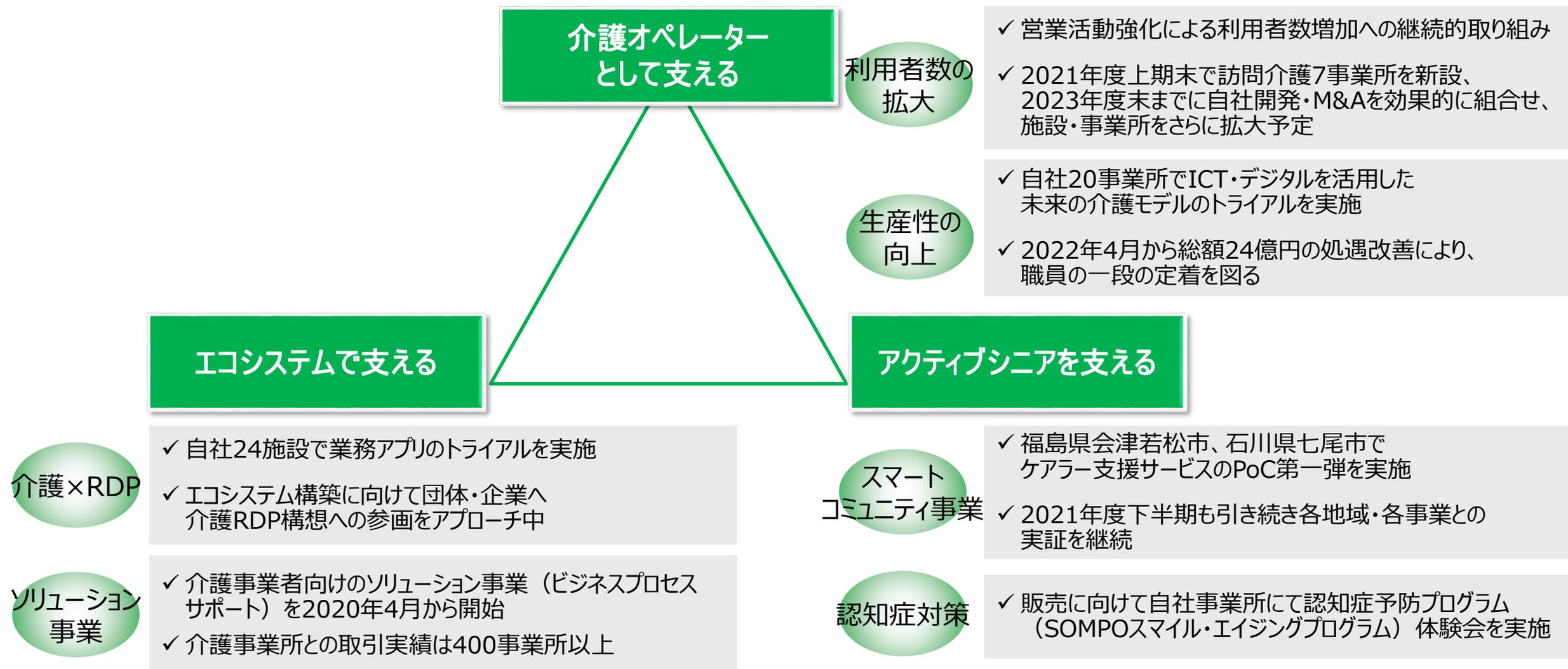


## 21年度KPI進捗のポイント

1	<p>✓ <b>事業別修正利益</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営業活動強化に伴う入居者数の増加により、売上高は増加</li> <li>売上増に伴う人件費の増加、新型コロナ影響に伴う消耗品増加などにより、事業別修正利益は、期初予想通り65億円で着地の見込み</li> </ul>
2	<p>✓ <b>売上高</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営業活動強化により、期初予想を上回る入居者数を獲得したことで通期予想に対する進捗率は49%と順調に推移</li> <li>下半期も引き続き取り組みを維持し、予想通りの水準を見込む</li> </ul>
3	<p>✓ <b>入居率</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営業活動の強化により期初計画を上回る入居者数を獲得</li> <li>引き続き取り組みを維持することで、年度末入居率は期初予想 (90.8%) を大きく越えて着地する見込み</li> </ul>

## 介護・シニア事業② – 3つの基本戦略の取組状況 –

- 社会価値提供も視野に入れた3つの基本戦略は着実に進展



# デジタル事業 – 進捗状況 –

- デジタル事業では、中核会社としてSOMPO Light Vortexを新設
- 尖った技術を持つスタートアップとの連携によるプロダクト開発・販売等、デジタルソリューション提供による収益化に着手

## デジタル事業

### 既存事業



### 新規事業領域

7月  
新設

#### 感染防止対策・地域経済活性化

攻め	Light PASS (ワクチン接種・陰性証明)	事業・経済の 活性化
守り	Light Checker (罹患予測、ストレスチェック)	感染防止・ 事業継続

### SOMPO × Palantir

RDP  
構築

両社共通投資先であるモビリティ関連スタートアップとの協業などによるモビリティRDP構築に向けた取り組みの加速

ソフトウェア  
提案

新型コロナウイルス感染症対策に向けたデータ活用のため神奈川県が採用※（2021年11月）

## グループ会社におけるDX推進

### DXの取組



- コールセンター領域におけるDX推進
- EC事業を支援する保険の提供
- 新家賃保証システム「Z-Value」の提供
- セキュリティソリューションの導入



- がんリスク検査サービスの提供



- オンライン運動プログラムの展開
- ケアラー支援の実証実験

### 提携先など



SalivaTech



自治体

グループ全体では、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX銘柄）2021」の「DX注目企業2021」に選定  
デジタル技術を持つパートナーとの対話を重ね、DXを積極的に推進

※神奈川県とPalantir Technologies Japan株式会社との両者にて契約

---

1. SOMPOホールディングスの概要

---

2. 中期経営計画の進捗

3. 2021年度通期業績予想・中間決算の概要

## 2021年度通期業績予想（連結）

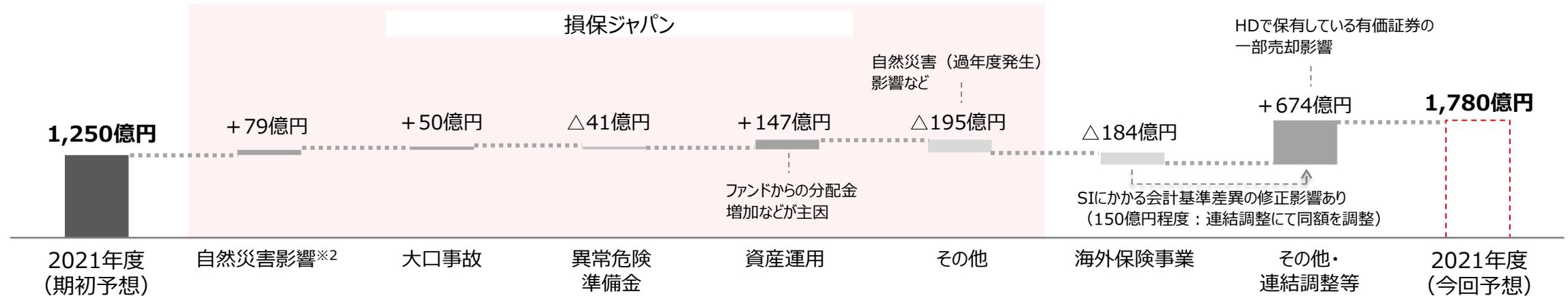
- 業績進捗に加えて、HDで保有している有価証券の一部売却影響を踏まえ、通期業績予想を上方修正、連結純利益は1,780億円を見込む

(単位：億円)	2020年度 実績 (A)	2021年度			対前年増減 (C-A)
		期初予想 (B)	今回予想 (C)	増減 (C-B)	
正味収入保険料	29,235	30,900	31,810	+910	+2,574
生命保険料	3,461	3,580	3,310	△270	△151
連結経常利益	2,150	1,850	2,670	+820	+519
損保ジャパン	1,974	1,745	1,810	+65	△164
海外グループ会社	522	723	594	△128	+71
ひまわり生命	289	172	172	△0	△116
SOMPOケア	87	86	88	+2	+1
その他・連結調整等	△723	△877	4	+881	+727
連結純利益	1,424	1,250	1,780	+530	+355
損保ジャパン	1,469	1,330	1,370	+40	△99
海外グループ会社	358	579	394	△184	+36
ひまわり生命	200	116	116	-	△84
SOMPOケア	53	51	53	+1	△0
その他・連結調整等	△656	△826	△153	+672	+502
(参考) 修正連結利益	2,021	2,050	2,100	+50	+78
国内損保事業	1,301	1,050	1,125	+75	△176
海外保険事業	300	600	565	△35	+264
国内生保事業	338	325	325	-	△13
介護・シニア事業	81	65	65	-	△16
デジタル事業等	-	10	10	-	+10

## 2021年度通期業績予想修正のポイント

- 堅調な利配収入などに加えて、HDで保有している有価証券の一部売却影響を踏まえ、通期業績予想を上方修正
- 株主還元原資となる修正連結利益は、期初予想比+50億円増の2,100億円を見込む

### 修正の要因（税引後数値※1）：連結純利益



### 修正の要因（税引後数値※1）：修正連結利益



## 業績ハイライト（2021年度中間期）

- 中間期の連結経常利益は+1,130億円増益の1,905億円、連結純利益は+911億円増益の1,307億円
- 各事業の直近の業績進捗に加えて、HDで保有している有価証券の一部売却影響を踏まえ、通期業績予想を上方修正、連結経常利益は2,670億円、連結純利益は1,780億円と、いずれも過去最高益を見込む
- 株主還元原資となる修正連結利益は2,100億円に上方修正、追加還元として200億円の自己株式取得を決定

### 中間実績

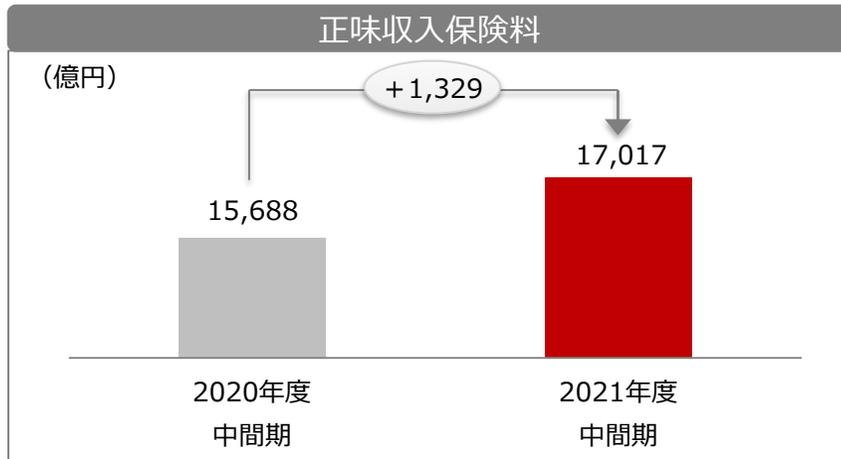
- 損保ジャパンは、国内自然災害が減少したことを主因に、保険引受利益は+119億円増益  
※自動車保険のE/I損害率は対前年+1.4pt上昇（2019年度中間期対比では△6.6pt低下）、事故受付件数は対前年+3.3%増加（2019年度中間期対比では△16.6%減少）  
 資産運用粗利益は+138億円増益、ファンドからの分配金増加が主因
- 海外保険事業の修正利益は+277億円増益、前年度の新型コロナ影響剥落に加え、SIのトップライン増収効果や運用収益改善などがプラス寄与
- 国内生保事業は、Insurhealth®商品を中心に、新契約年換算保険料は順調に拡大
- 介護・シニア事業は、入居率の改善傾向が継続
- HDで保有している有価証券を一部売却

### 通期業績予想の修正

- 堅調な利配収入などに加えて、HDで保有している有価証券の一部売却影響を踏まえ、通期業績予想を上方修正  
 連結経常利益は2,670億円（期初予想比+820億円）、連結純利益は1,780億円（同+530億円）を見込む
- 株主還元原資となる修正連結利益は、期初予想比+50億円増の2,100億円を見込む
- 直近の資本余力が中期経営計画で想定している水準を安定的に上回る見込みであることから、追加還元として、200億円の自己株式取得を決定

## 2021年度中間決算概況（連結）

- SIに加え、損保ジャパンでの火災保険や新種保険を中心とした増収などにより、正味収入保険料は+1,329億円の増収
- SIおよび損保ジャパンの増益に加え、HDで保有している有価証券の一部売却影響もあり、連結経常利益・連結純利益ともに大幅増益



(単位：億円)	2020年度 中間期	2021年度 中間期	増減	2021年度 今回予想
連結経常収益	19,853	21,797	+1,944 (+9.8%)	-
正味収入保険料	15,688	17,017	+1,329 (+8.5%)	31,810
生命保険料	1,688	1,579	△109 (△6.5%)	3,310
連結経常利益	775	1,905	+1,130	2,670
損保ジャパン	644	878	+234	1,810
海外グループ会社	173	370	+196	594
ひまわり生命	170	145	△25	172
SOMPOケア	54	39	△14	88
その他・連結調整等 <sup>※1</sup>	△267	471	+739	4
連結純利益 <sup>※2</sup>	396	1,307	+911	1,780
損保ジャパン	459	641	+181	1,370
海外グループ会社	64	263	+198	394
ひまわり生命	119	100	△18	116
SOMPOケア	23	25	+2	53
その他・連結調整等	△270	276	+547	△153
(参考) 修正連結利益	950	1,487	+537	2,100
国内損保事業	675	916	+240	1,125
海外保険事業	74	351	+277	565
国内生保事業	180	185	+4	325
介護・シニア事業	18	25	+6	65
デジタル事業等	-	8	+8	10

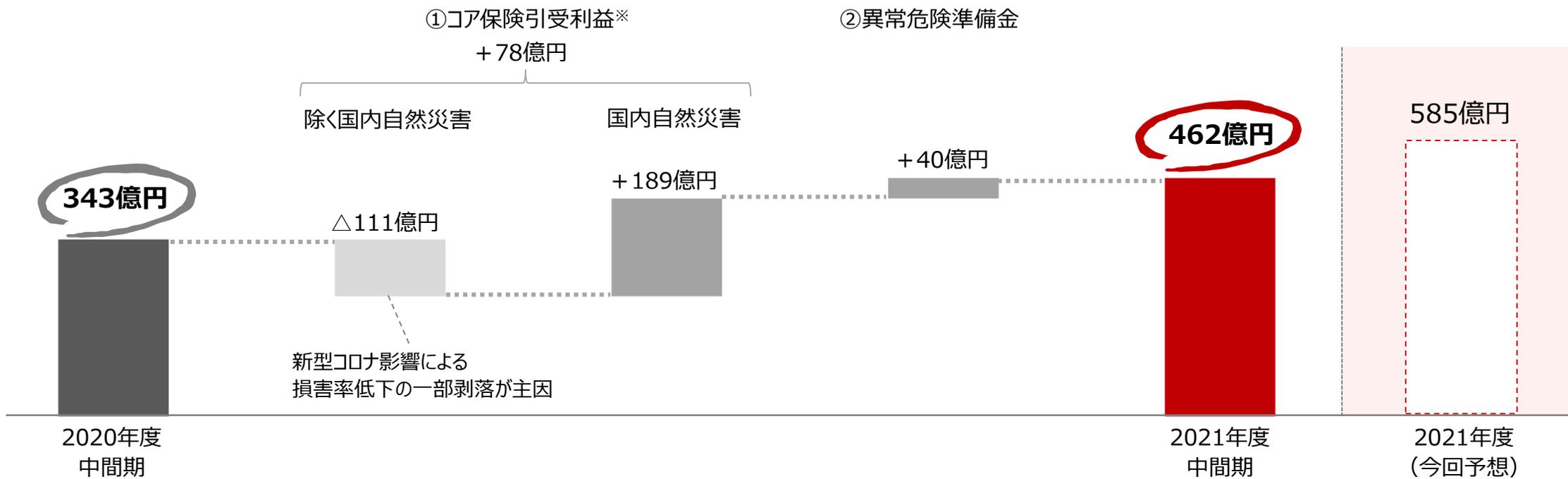
※1 SOMPOホールディングス設立時に企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用したことによる売却損益等の修正を含む

※2 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）

# 保険引受利益（損保ジャパン）

- 保険引受利益は、国内自然災害が減少したことを主因に、+119億円増益の462億円

## 保険引受利益（損保ジャパン）の増減要因

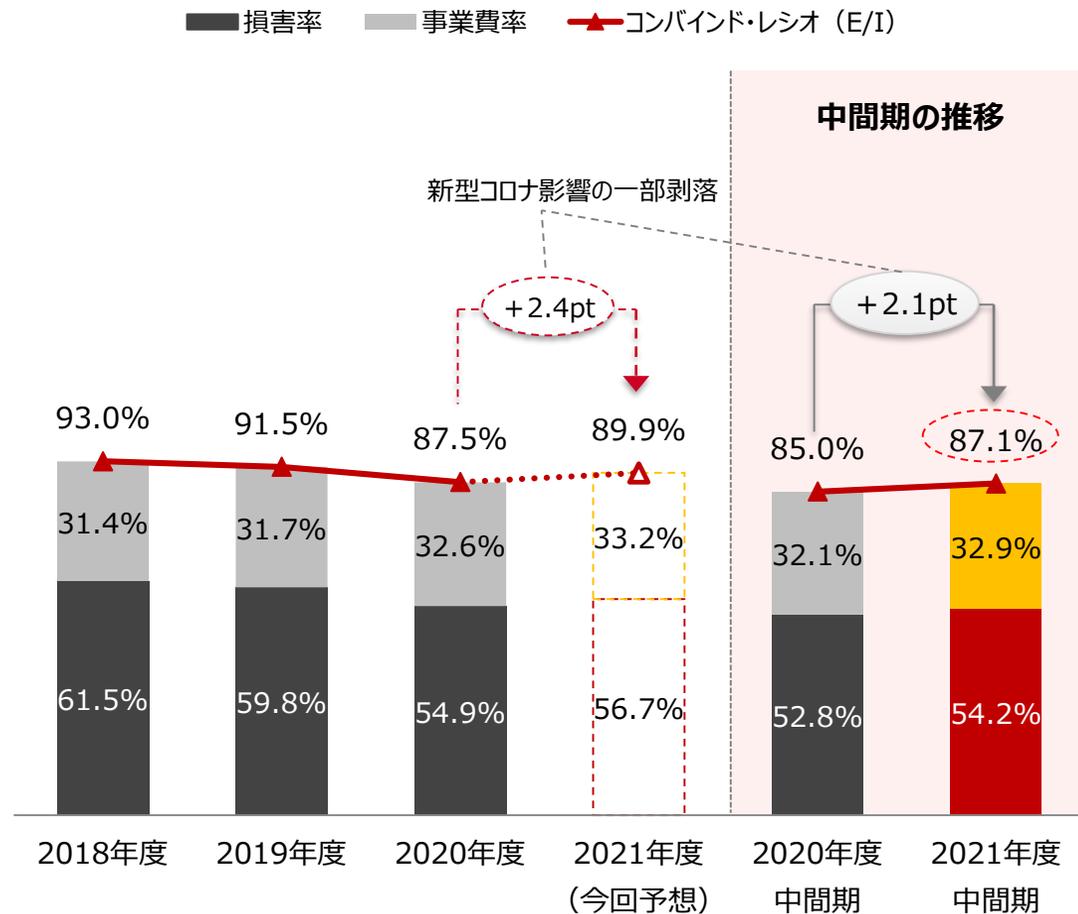


	730億円	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2020年度中間期	730億円	1,186億円	△455億円	△386億円	343億円
<b>2021年度中間期</b>	<b>809億円</b>	<b>1,074億円</b>	<b>△265億円</b>	<b>△346億円</b>	<b>462億円</b>

※ コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

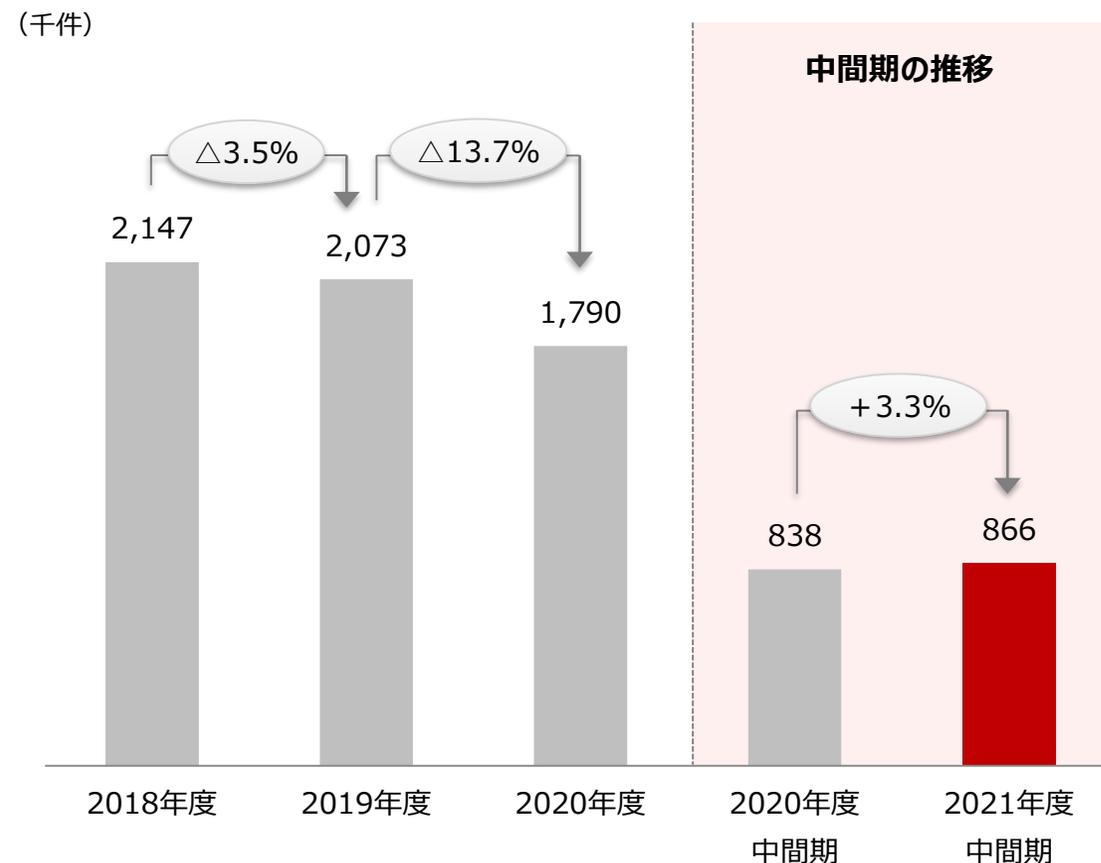
# <参考> 自動車保険関連の指標 (損保ジャパン)

## コンバインド・レシオ (E/I) の推移



※ 損害率はE/Iベース (含む損調費)

## 事故受付件数の推移

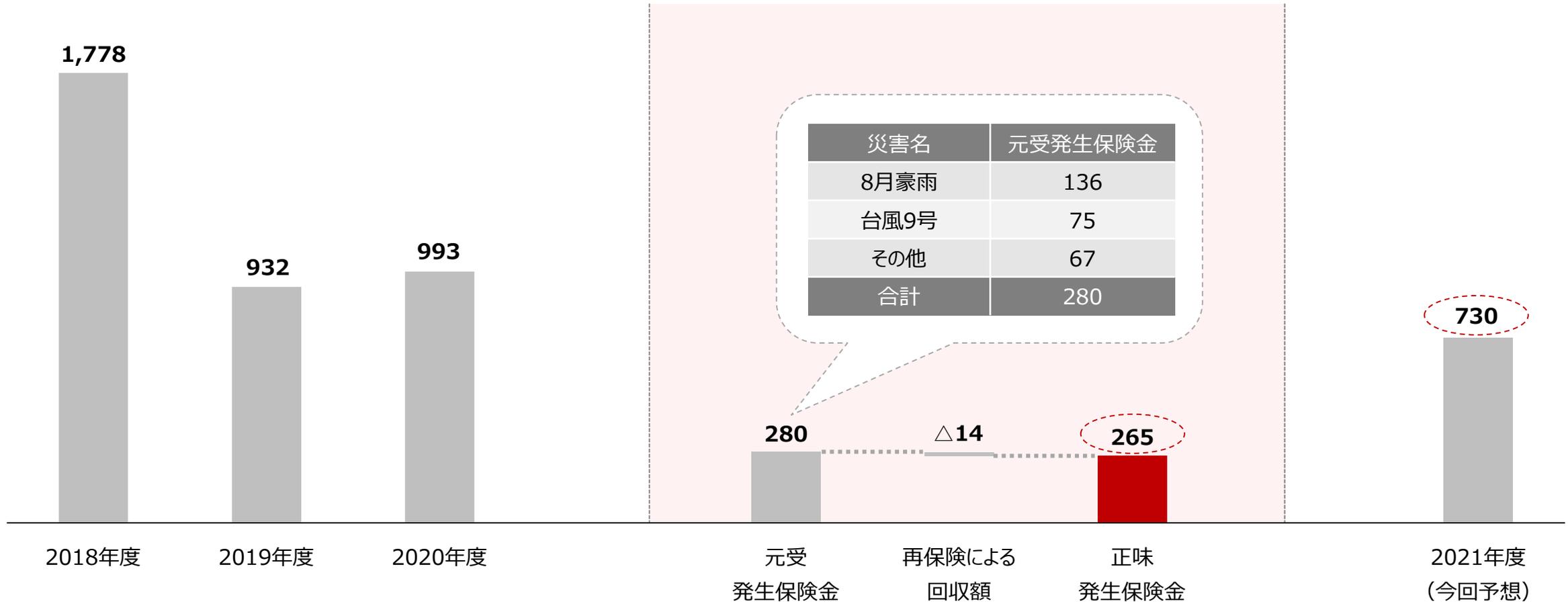


※ 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

## <参考> 国内自然災害（損保ジャパン）

### 国内自然災害の正味発生損害（当年度発生）※

（単位：億円）



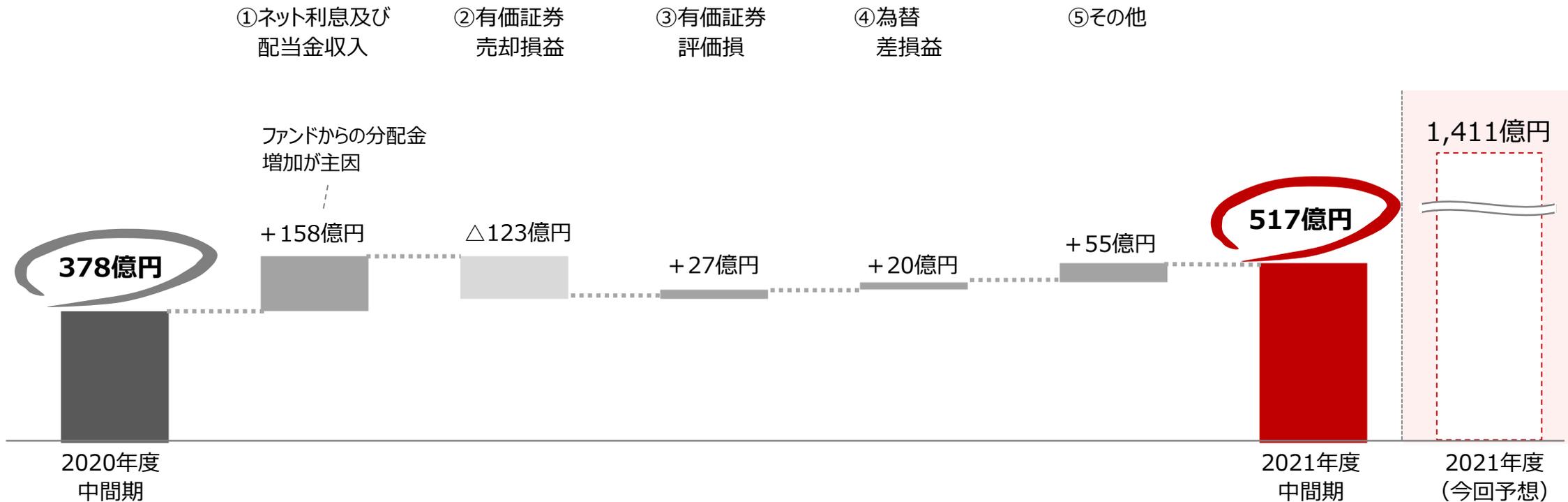
2021年度 中間期

※ 除く自賠責・家計地震

# 資産運用粗利益（損保ジャパン）

- 資産運用粗利益はネット利配増加を主因に、+138億円増益の517億円

## 資産運用粗利益（損保ジャパン）の増減要因

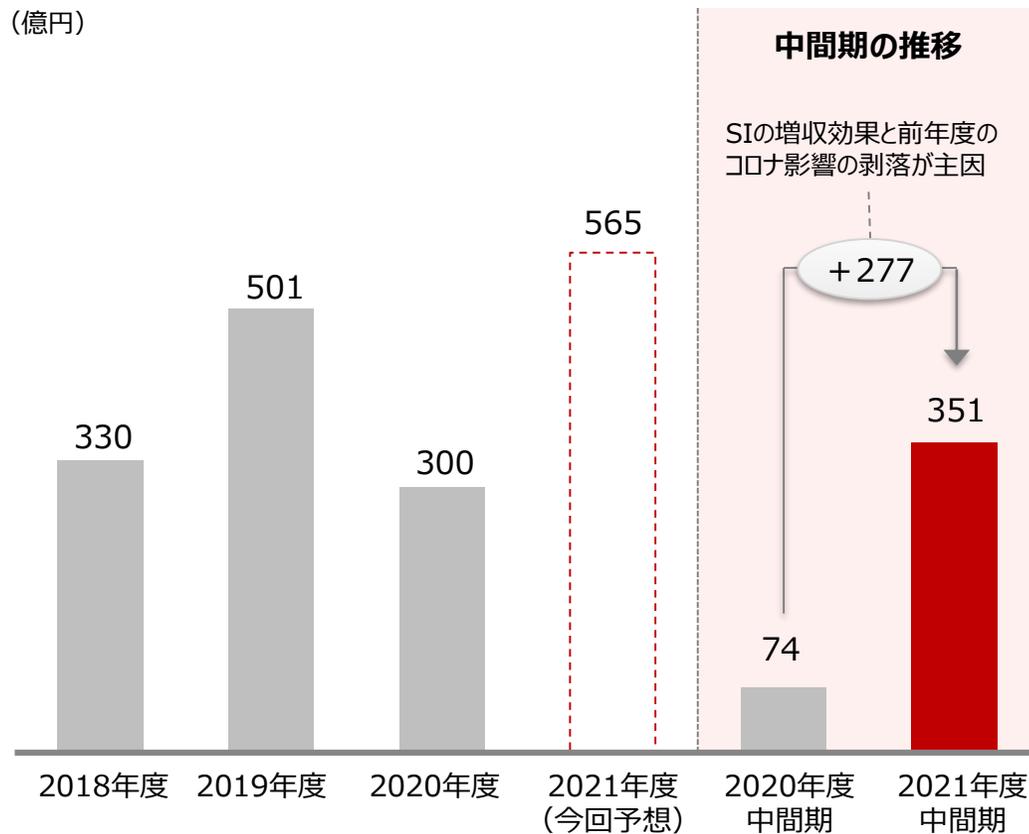


	①ネット利息及び配当金収入	②有価証券売却損益	③有価証券評価損	④為替差損益	⑤その他	資産運用粗利益
2020年度中間期	315億円	162億円	△48億円	△10億円	△39億円	378億円
<b>2021年度中間期</b>	<b>473億円</b>	<b>39億円</b>	<b>△21億円</b>	<b>10億円</b>	<b>16億円</b>	<b>517億円</b>

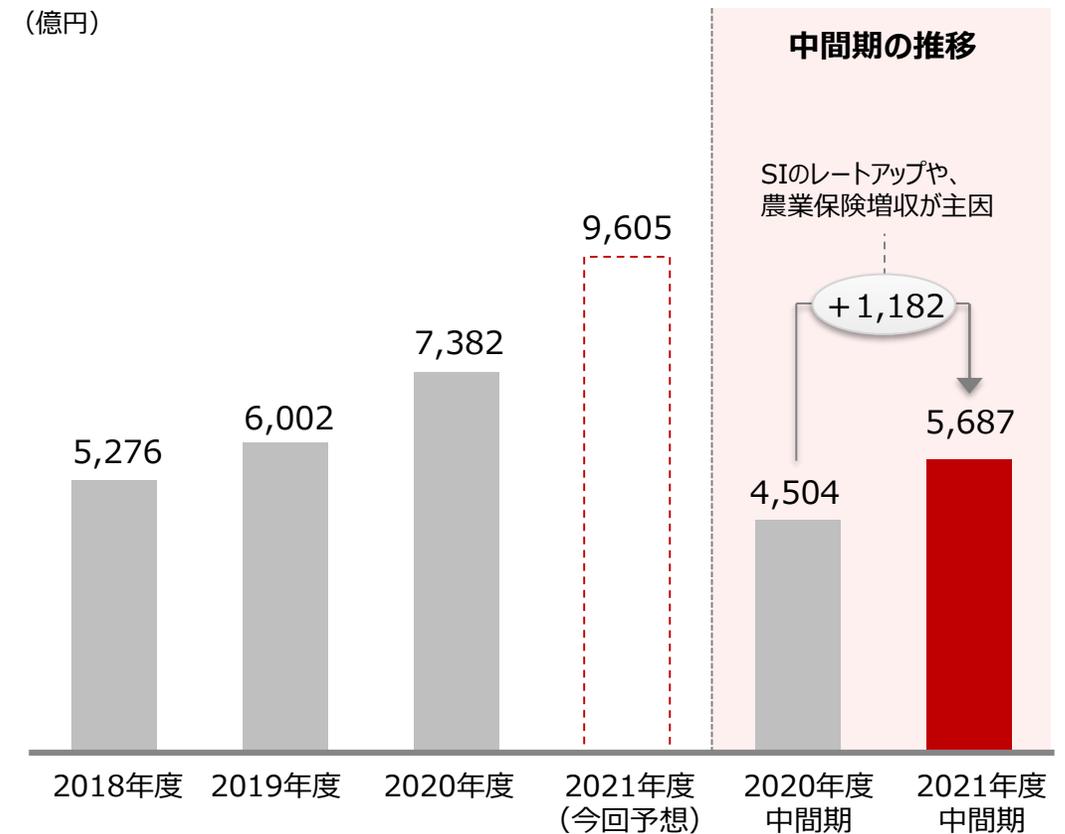
## 業績概況（海外保険事業）

- SIの計画を上回るレートアップやDiversified社の統合効果などを主因に、海外保険事業のトップラインは+1,182億円増収
- SIの増収効果に加え、前年度のコロナ影響の剥落や運用収益改善なども寄与し、海外保険事業の修正利益は+277億円増益

### 修正利益※



### (参考) 収入保険料※



※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている

## <参考> 地域別業績（海外保険事業）

(単位：億円)		収入保険料				修正利益				2021年度中間決算のポイント	(参考) 為替レート	
		2021年度 中間期		2021年度 通期		2021年度 中間期		2021年度 通期			2021年6月※2 (対前年為替影響)	
		実績	対前年 増減	期初 予想	今回 予想	実績	対前年 増減	期初 予想	今回 予想			
欧米	SI	5,097	+1,256	7,414	8,280	346	+361	588	595	次ページご参照	110.58 円/米ドル	(+2.6%)
中東	Sompoシゴルタ (トルコ)	109	△30	293	239	27	△17	42	51	トップラインは、自動車保険の厳格な引受基準堅持の影響により減収。 修正利益は、自動車保険損害率の上昇や為替影響を主因に減益。	12.65 円/リラ	(△19.7%)
アジア	ベルジャヤソンポ (マレーシア) 等	214	+11	476	447	38	+2	51	64	トップラインは概ね計画通り。 修正利益は、ベルジャヤソンポの損害率改善などを主因に順調。	-	-
南米	Sompoセグロス (ブラジル)	245	△60	499	590	△65	△58	△17	△155	トップラインは、再保険戦略見直しにより減収。 修正利益は、繰延税金資産の取崩しを主因に減益。	22.31 円/リアル	(+11.9%)
非連結※1		22	+5	65	47	3	△1	△0	6	-	-	-
合計		5,687	+1,182	8,748	9,605	351	+277	600	565	-	-	-

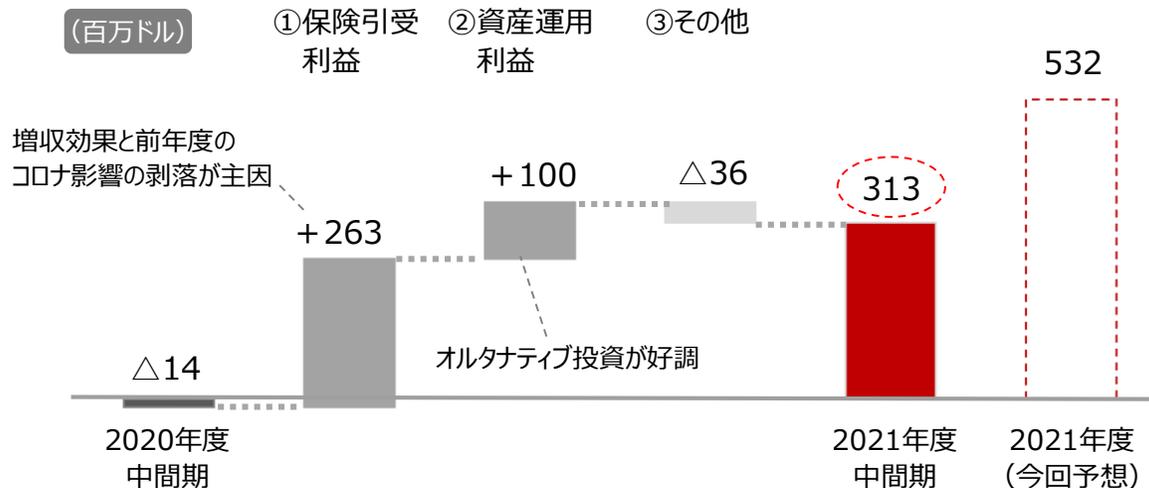
※1 Sompoタイランド、PGAソンポ（フィリピン）、ユナイテッドインシュアランス（ベトナム）などの合計

※2 通期業績予想（今回予想）における前提為替レートは2021年9月末時点を使用

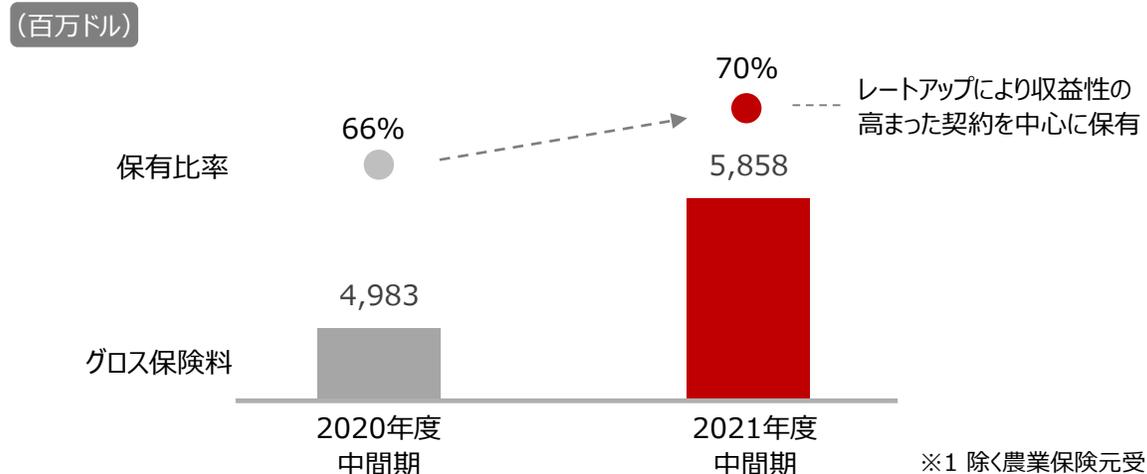


## <参考> SI業績概況（海外保険事業）

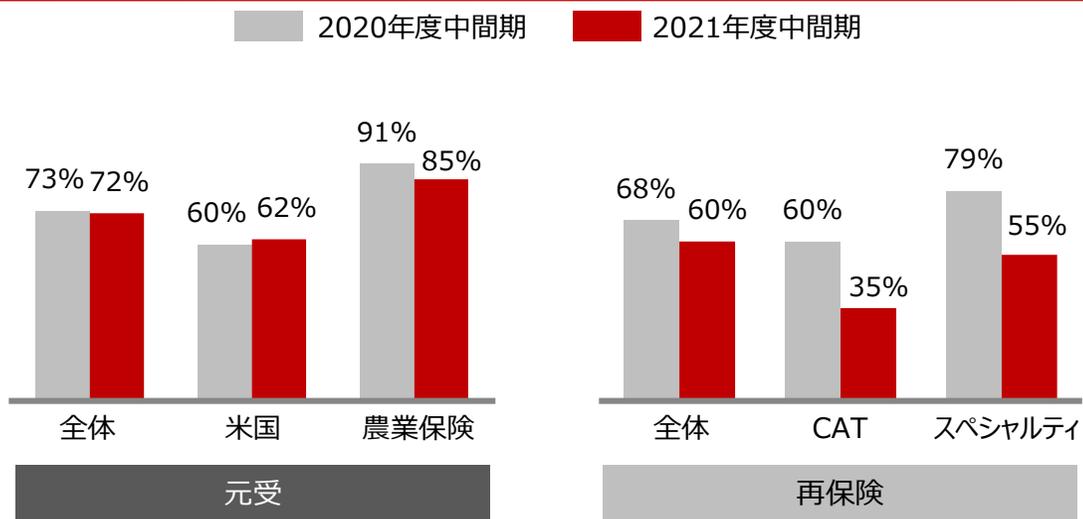
### 修正利益の増減要因



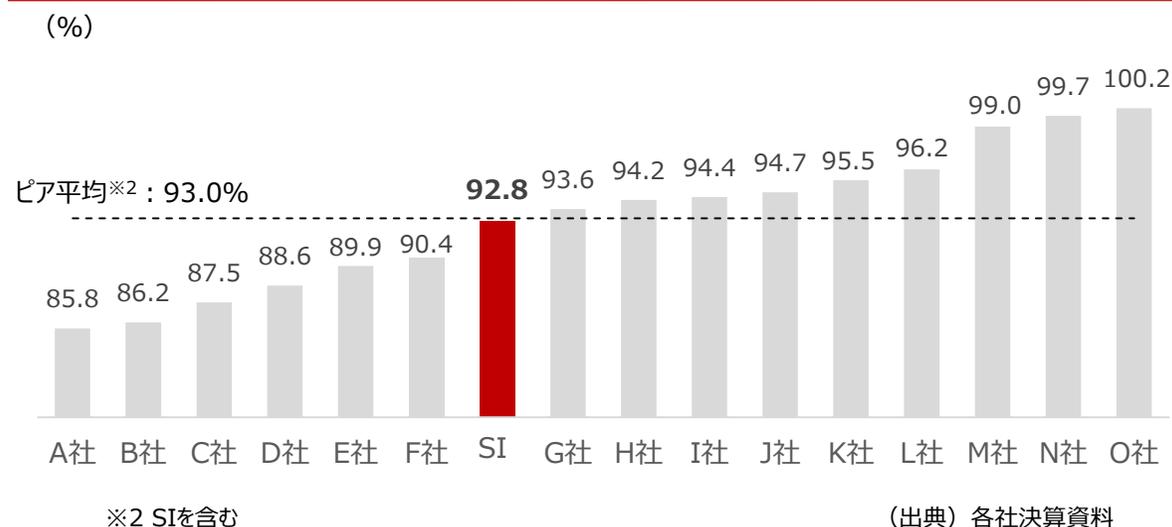
### グロス保険料と保有比率※1



### 主要セグメント別損害率



### (参考) ピア比較（コンバインド・レシオ、2021年度中間期）



## 業績概況（ひまわり生命）

- 保障系商品の保有契約増加等により、修正利益は+4億円増益の185億円
- Insurhealth®商品を中心に、新契約年換算保険料は順調に拡大

### 主要業績

(単位：億円)	2020年度 中間期	2021年度 中間期	増減		2021年度 (今回予想)
新契約年換算保険料	113	131	+18	(+16.1%)	401
保険料等収入※1	2,153	2,140	△12	(△0.6%)	4,442
責任準備金繰入等※2	1,413	1,366	△46	(△3.3%)	2,867
保険金等支払	353	378	+25	(+7.1%)	785
事業費	407	447	+40	(+9.8%)	1,010
資産運用損益	242	245	+2	(+0.8%)	524
（うち一般勘定）	230	236	+5	(+2.5%)	475
基礎利益	192	174	△18	(△9.6%)	214
経常利益※1	187	163	△24	(△12.8%)	201
当期純利益	119	100	△18	(△15.6%)	116
修正利益	180	185	+4	(+2.6%)	325

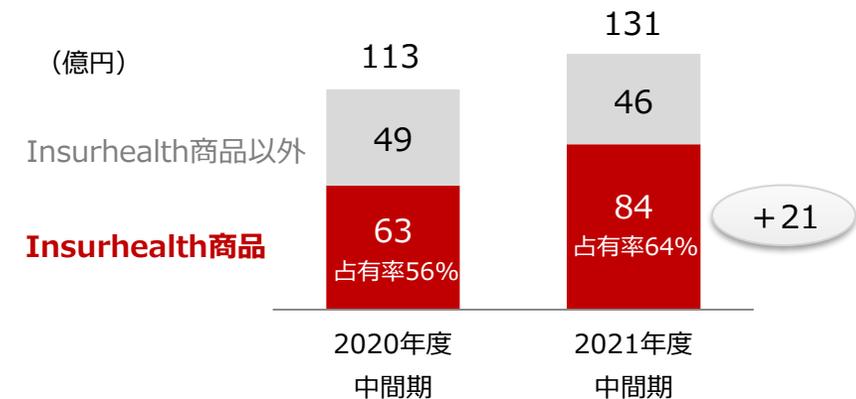
※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

### （参考）保有契約年換算保険料の構成



### （参考）新契約年換算保険料の構成

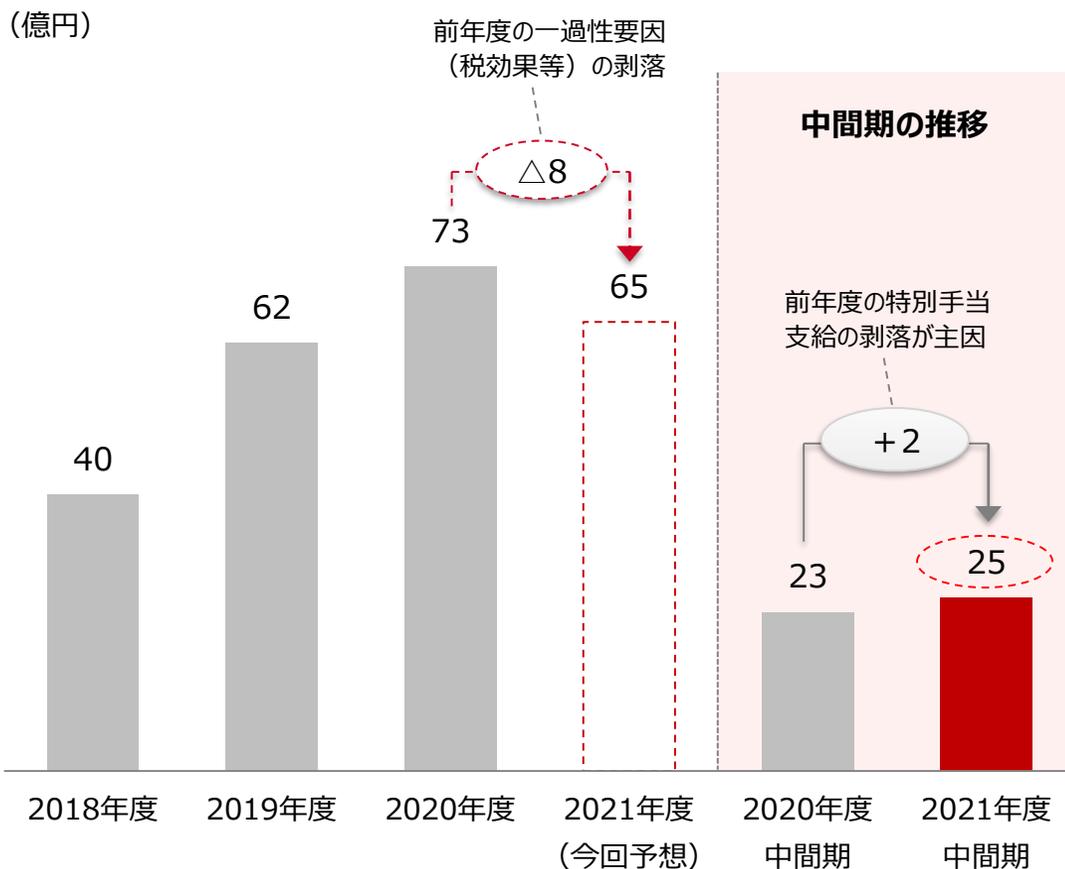


○ : 2020年度中間期対比の増減額

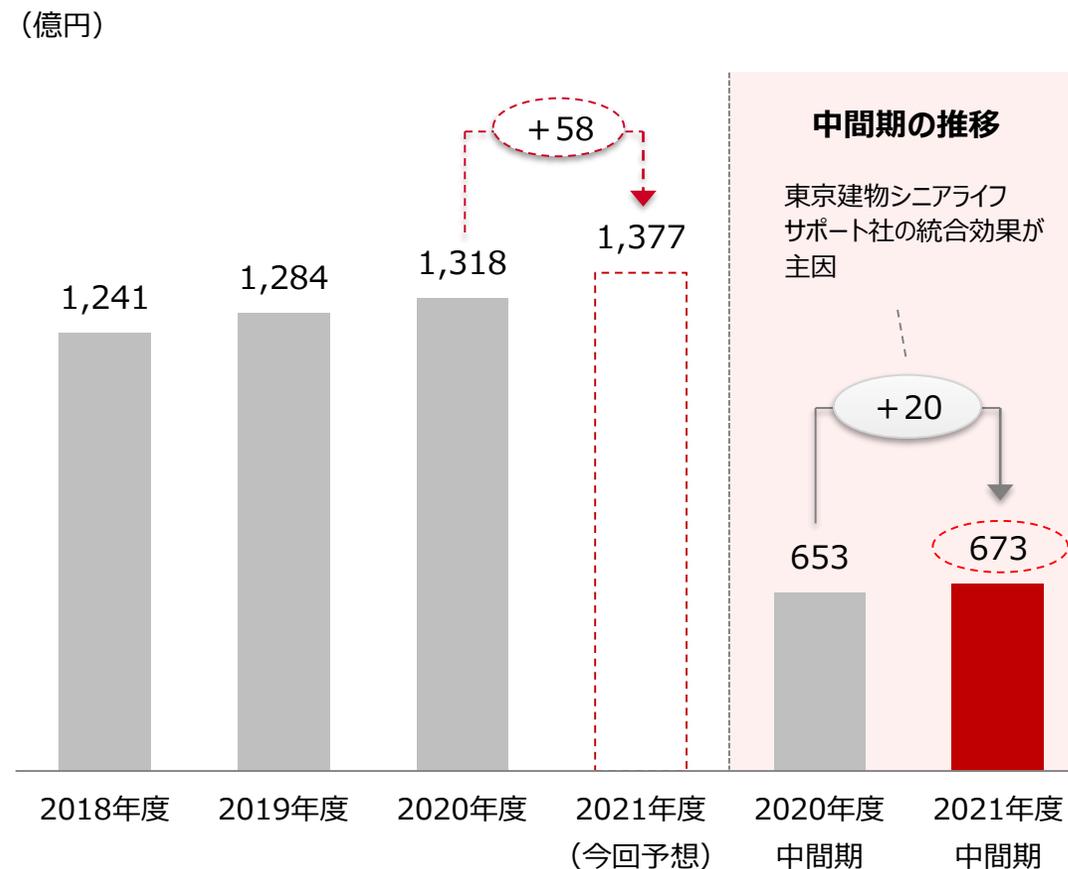
# 業績概況（介護・シニア事業）

- SOMPOケアの修正利益は、前年度の特別手当支給の剥落などにより+2億円増益

## SOMPOケアの修正利益



## SOMPOケアの売上高

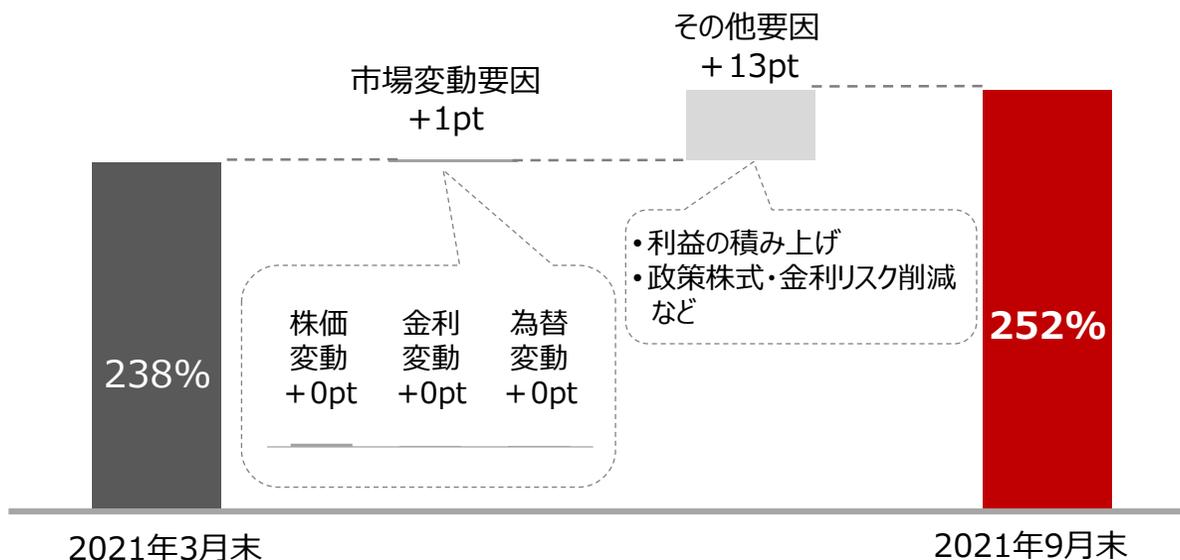




# 財務健全性：ESR (99.5%VaR)

- 2021年9月末のESR (99.5%VaR) は252%と、ターゲットレンジ内の資本水準を維持

## ESR (99.5%VaR) ※1の推移



※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

ESR (99.5%VaR) におけるターゲット資本水準は、200%~270%

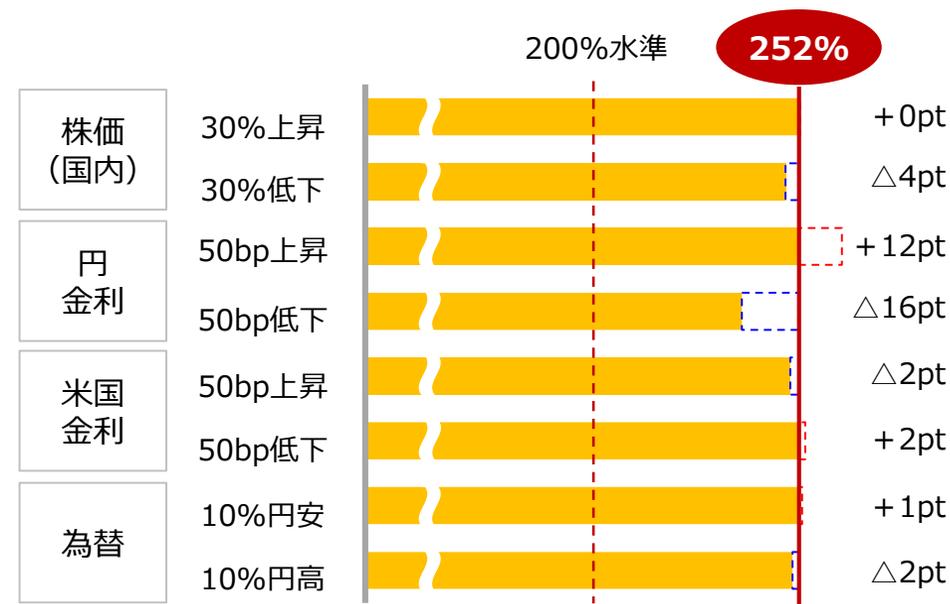
270%水準：資本効率（修正連結ROE）の観点を踏まえた水準

200%水準：ストレステストの結果などを踏まえ、財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

- 【270%超】 追加的リスクテイク（成長投資）の検討、積極的な株主還元の見直しなど
- 【200%未満】 各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

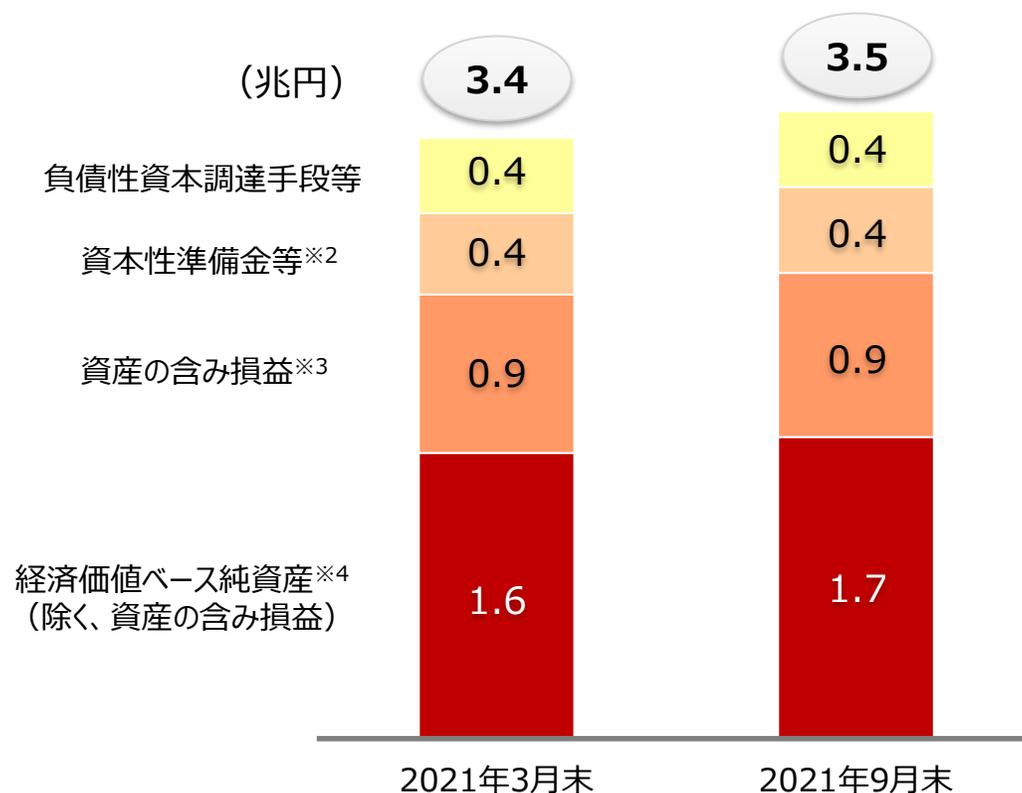
## ESR (99.5%VaR) の感応度分析



(参考) 市場環境	2021年9月末	(増減※2)
国内株価 (日経平均株価)	29,452円	(+0.9%)
国内金利 (30年物国債利回り)	0.68%	(+1bp)
米国金利	1.49%	(△25bp)
為替 (米ドル円レート)	111.92円	(+1.1%)

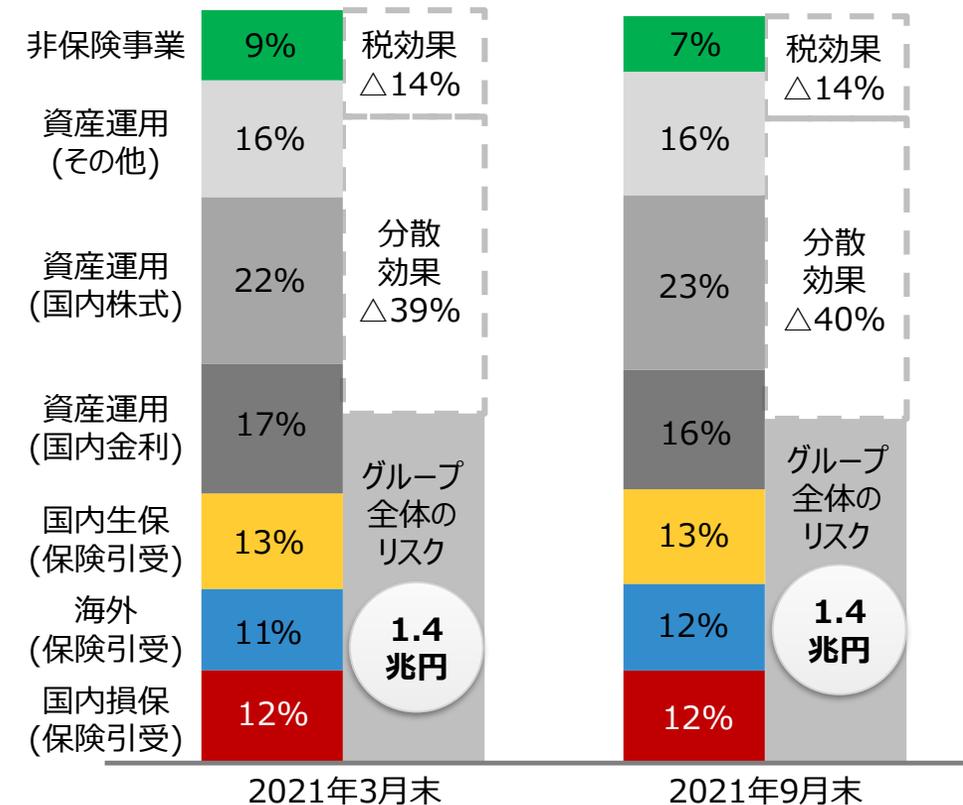
## <参考> 実質自己資本・リスク量のブレークダウン

### 実質自己資本※1



- ※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 + 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等
- ※2 価格変動準備金、異常危険準備金など (税引後)
- ※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益
- ※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

### リスク量※5

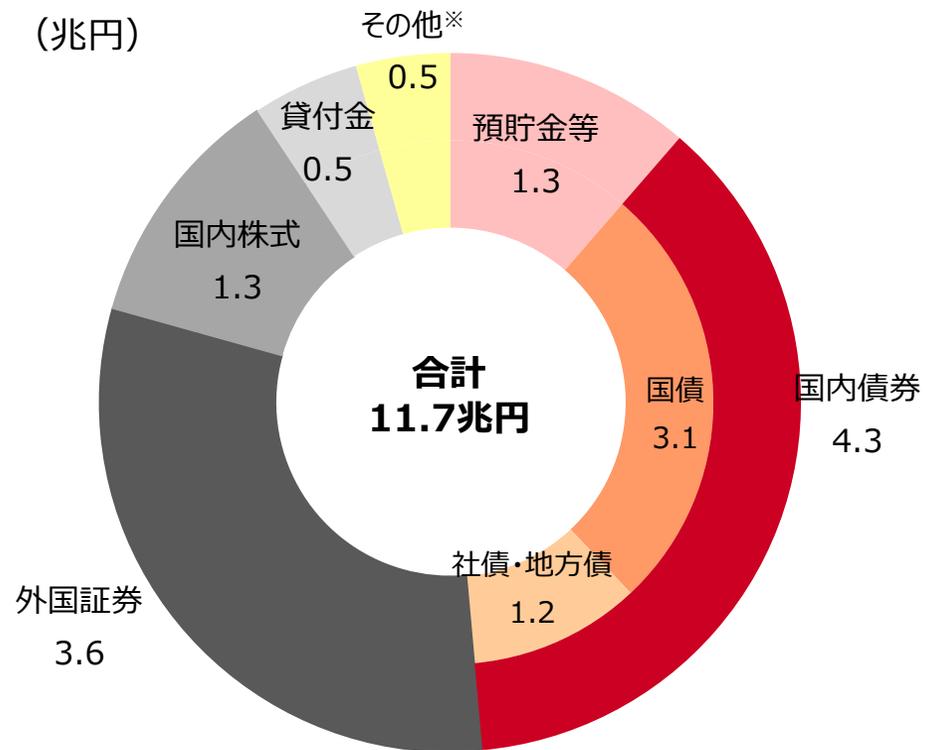


- ※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測
- リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)
- グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

## 資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）

- 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

### 運用資産額（2021年9月末、グループ連結ベース）



※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

### グループ会社別運用資産額

(単位：億円)

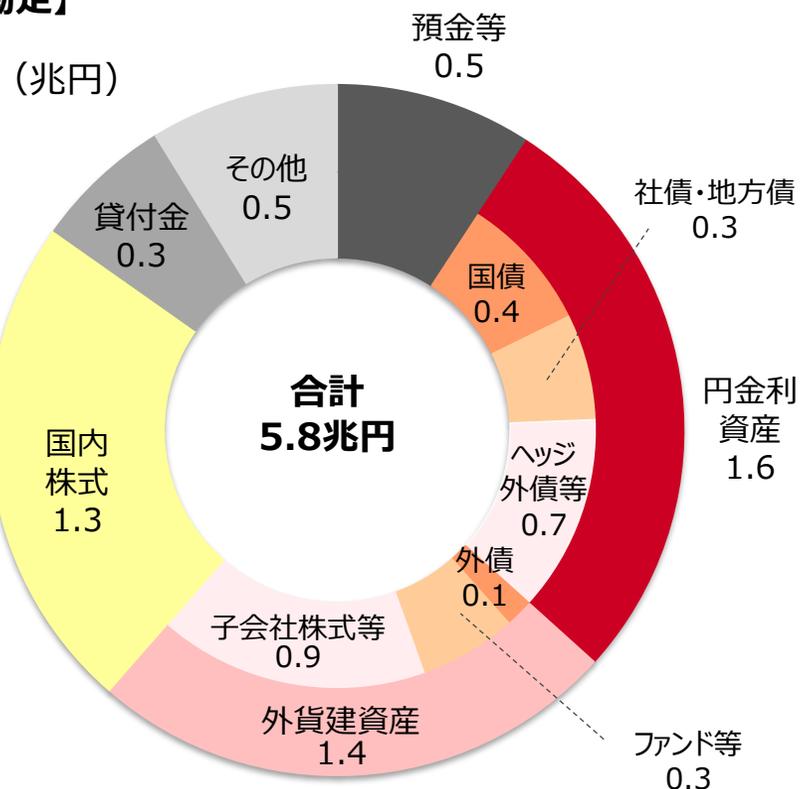
	運用資産額	構成比
損保ジャパン	56,361	47.9%
海外グループ会社	18,133	15.4%
ひまわり生命（一般勘定）	37,891	32.2%
セゾン自動車火災	663	0.6%
国内その他	4,603	3.9%
<b>合計</b>	<b>117,653</b>	<b>100%</b>

# 資産ポートフォリオ（損保ジャパン）

- 政策株式の削減、分散投資の推進を基本とするポートフォリオ・マネジメントを継続

## 運用資産額（2021年9月末、損保ジャパン単体ベース）

### 【一般勘定】



### インカム利回り（一般勘定）※1の推移



### 格付別構成比※2

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

### デュレーション（年）

	2021年3月末	2021年9月末
資産	8.2	8.0
負債	8.3	8.0

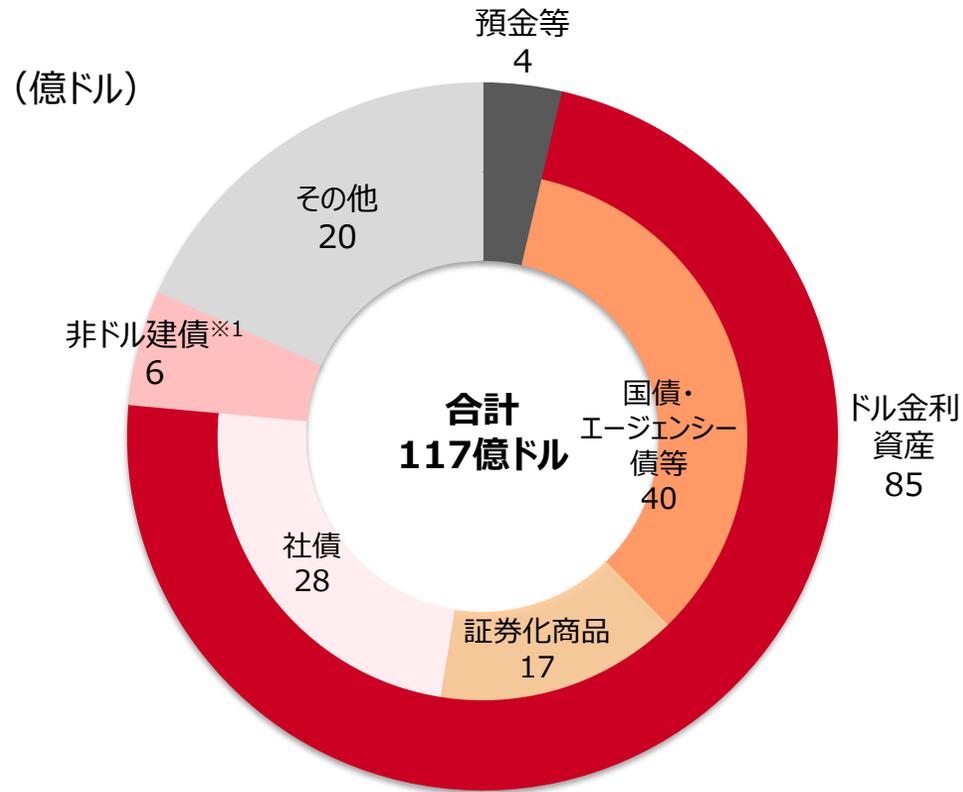
※1 海外グループ会社株式等を除く

※2 円金利資産、外貨建債券の合計

# 資産ポートフォリオ (SI)

- ドル金利資産への投資をベースとしつつ、負債特性を踏まえ、流動性・安全性を重視した運用を継続

## 運用資産額 (2021年6月末、SI連結ベース)



### 格付別構成比※2

社内格付	構成比
BBB格以上	90%
BB格以下	10%

### デュレーション (年)

	2020年 12月末	2021年 6月末
資産	2.9	3.1
負債	3.4	3.1

(参考) 2021年6月末のインカム利回り (一部ファンドの未実現損益等の変動を含む) は3.3%

※1 一部預金含む

※2 債券資産の合計

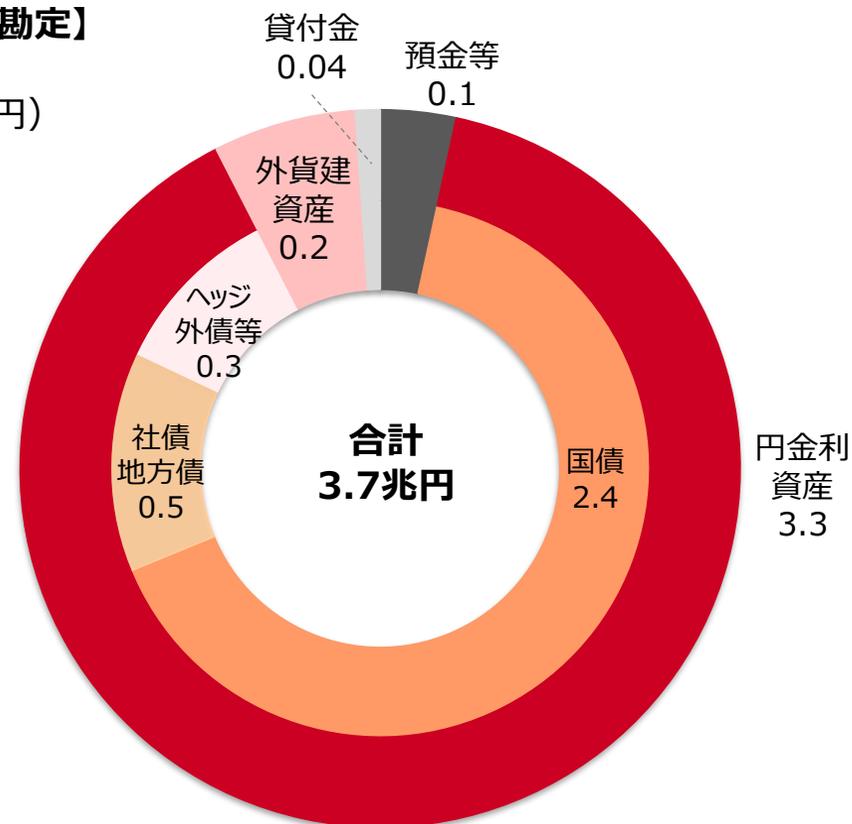
# 資産ポートフォリオ（ひまわり生命）

- 円金利資産を中心としたALM重視のポートフォリオを構築
- 国内の低金利環境を踏まえ、社債投資等へも配分

## 運用資産額（2021年9月末、ひまわり生命単体ベース）

【一般勘定】

(兆円)



(参考) 2021年9月末の特別勘定の残高：251億円（主に国内株式・債券で運用）

### インカム利回り（一般勘定）の推移



### 格付別構成比※

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

### デュレーション（年）

	2021年3月末	2021年9月末
資産	15	16
負債	26	26

※ 円金利資産、外貨建債券の合計

## <参考> 経営数値目標等

### 計画数値

(単位：億円)	2021年度中間期		2021年度通期		2023年度	
	(実績)	(対前年増減)	(今回予想)	(事業別ROE) ※5	(計画) ※6	(事業別ROE)
国内損保事業	916	+240	1,125	8.4%	1,500以上	11.4%
海外保険事業	351	+277	565	6.6%	1,000以上	11.6%
国内生保事業	185	+4	325	4.3%	400以上	5.7%
介護・シニア事業※3	25	+6	65	11.5%	80以上	14.3%
デジタル事業等	8	+8	10	-	20以上	-
<b>合計(修正連結利益)</b>	<b>1,487</b>	<b>+537</b>	<b>2,100</b>	<b>-</b>	<b>3,000以上</b>	<b>-</b>
<b>修正連結ROE※4</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>7.4%</b>	<b>-</b>	<b>10%以上</b>	<b>-</b>
ROE (J-GAAPベース)	-	-	8.6%	-	-	-

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く。

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失など)

※3 2020年度は介護・ヘルスケア事業等。修正利益 = 当期純利益 (一過性の損益を除く)

※4 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

※5 事業別ROE = 事業部門別修正利益 ÷ 各事業への配賦資本 (事業に属する会社の連結純資産合計またはリスクモデルに基づく必要資本。期首・期末の平均)

事業別ROEは、各事業特性を踏まえ異なる定義で各々設定しているため、事業間比較には適さず、各事業の進捗モニタリングを通じて修正連結ROEおよび各事業別ROE目標値の達成確度を高めることを目的に導入

※6 2023年度の修正連結利益 (計画) は、オーガニック成長を前提とした計画値。想定以上の自然災害影響などによる下振れリスク (△300億円) に対し、M&A実行によって利益上乘せ (+300億円) を図ることで、計画の達成確度を高める

### 修正連結利益※1の定義

#### 国内損保事業

##### 当期純利益

- + 異常危険準備金繰入額等 (税引後)
- + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
- 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

#### 海外保険事業

##### Operating Income※2

なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益

#### 国内生保事業

##### 当期純利益

- + 危険準備金繰入額 (税引後)
- + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
- + 責任準備金補正 (税引後)
- + 新契約費繰延 (税引後)
- 新契約費償却 (税引後)
- 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

#### 介護・シニア事業

#### ヘルスケア事業等

##### 当期純利益

#### デジタル事業

##### 当期純利益

- 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)

## 将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 【お問い合わせ先】

 **SOMPOホールディングス株式会社**

#### **I R室**

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>